

日本語とインドネシア語との
バイリンガル・E・マガジン**こむにかし**
KOMUNIKASIE-Magazine Dwi Bahasa antara
Bahasa Indonesia dan Bahasa Jepang**Maret 2021 No.180****【2】日伊比較文化考**Perbandingan budaya
antara Indonesia Jepang

- 反省それとも気遣い

Mawas diri atau memikirkan

perasaan orang lain -

【3-6】ガドガド GADO-GADO

- 2020年を振り返って

Dengan melihat kejadian tahun 2020 -

【7】新ユートピア Dunia Impian

- ユートピア (18) マッサージ

Dunia impian (18) Massage -

【8】Let's Positiv Thinking

- 罪障消滅 Menghapus dosa -

【9-10】インドネシアとの出会い

Mengenal Indonesia

- BIPA -

【11-12】フローレスを偲んで

Aku Terkenang Flores

- 4. Membalik-balik Dokumen (6)

4. 資料を読み漁る (6) -

【13-14】幼児教育の基本

Dasar PAUD (Pendidikan Anak Usia Dini)

- 小学生になって作文を好きになるポイント

Poin agar menjadi suka mengarang

setelah menjadi anak SD -

【15-16】人間について考える

Memikirkan mengenai manusia

- 人間の基本 56 Dasar manusia 56 -

【17-18】実践トヨタ流モノづくり

Praktek Memproduksi dengan cara TOYOTA

- 運搬の原則と効率 (4)

Prinsip pemindahan dan efisiensi (4) -

【19-20】広告 Iklan

-2021年3月、4月セミナーの案内

Info seminar bulan Maret, April, 2021 -

【19】ばずるでばはさ**【21】Pelajaran Bahasa Jepang dengan Puzzle****【23】ああ言えば Ngomong begitu**

こう言う Ngomong begini

【24】Serat Centhini チェンティニ古文**【25-26】キ・ハジャー・デワントロ**

Ki Hajar Dewantara

- Ko-edukasi dan ko-instruksi atau

Mendidik dan mengajar anak-anak

perempuan dan laki-laki bersama-sama (2)

男女共学について (2) -

【27】松下幸之助の言葉

Kata-kata Matsushita Konosuke

- 前向きになれる言葉 24

Kata-kata yang bisa menjadi pikiran positif 24 -

【28】広告 Iklan

日本語コースのご案内

Informasi Kursus Bahasa Jepang

【29-30】宮澤賢治の童話から

Dari Dongeng Miyazawa Kenji

- 谷 (4) Lembah (4) -

【30】編集後記 Dari Redaksi**【31-32】広告 Iklan****【33-34】ISSIが目指すもの Visi Misi ISSI**毎月 6000 名以上の方に日本企業で働く方々を中心に、
「こむにかし I J」発行について
メールで案内をお送りしています。

Setiap bulan mengirim informasi mengenai

"Komunikasi IJ" melalui e-mail

terhadap lebih dari 6000 orang.

Sebagian besar adalah orang-orang

yang bekerja di perusahaan Jepang yang ada di Indonesia.

**日伊比較文化考 Perbandingan budaya antara Indonesia Jepang**

職場における日本人上司とインドネシア人との意見の食い違い。その食い違いの原因をインドネシアと日本との文化の違いに求める人が多いようです。果たしてそうでしょうか。ここでは、問題になりそうなインドネシアと日本の文化、考え方の違いを私なりに考えてみようと思います。

Perbedaan tanggapan antara orang Indonesia dan atasan orang Jepang. Banyak orang menganggap karena perbedaan budaya antara Indonesia dan Jepang. Apakah memang begitu? Di sini saya mencoba memikirkan perbedaan budaya dan cara berpikir yang akan menjadi masalah antara Indonesia dan Jepang.

反省それとも気遣い

最近、母親が日本人であるインドネシア人の友人と「反省」ということについて電話で話をしました。彼は「インドネシア人に『反省』という文化はあるのか」とインドネシアの将来について危ぶんでいるようでした。そう言われてみると、私もそのように感じます。そして、その話の中で私は「インドネシアには相手の気持ちを思いやる文化がある。要はお互いに傷つきたくないという文化だ。そして『反省をうながす』ということは相手の間違いを指摘して相手を傷つけるという部分がある。だからインドネシアには『反省』が根付かないのでは」と話しました。

しかし、それだけで終わってしまっただけでは、私がいつも言っている「人間としての成長」は望めないでしょう。本当に成長して天国に行くためには「反省」は欠かせないと思います。実は私自身いつも反省ばかりしています。「ああすればよかった」「あれは良くなかった」などなど。最近では自分で自分のことを「すぐ気にする人間」と周りにも言うようになってしまいました。ネクラなどと呼ばれてしまいそうです。でもそのように毎回反省しているからこそ今の自分があるのだと半面自信も持っています。

お互いに傷つけることを避けて毎日表面的に心地よく過ごすのか（前述の友達はマスターベーションと言っていました）、それともネクラと言われながらも反省して自分を成長させて確実に天国への道を進むのか。そしてそのことを他の人と共有するのか。どちらが良いのか。あなたはどう思いますか。

Mawas diri atau memikirkan perasaan orang lain

Baru-baru ini saya berbicara mengenai “mawas diri” bersama teman orang Indonesia yang ibunya orang Jepang. Dia kelihatannya agak pesimis mengenai masa depan Indonesia dengan mengatakan “Apakah ada budaya ‘mawas diri’ di Indonesia?” Kalau dikatakan begitu, saya merasa begitu juga. Dan dalam pembicaraan itu saya bilang “Di Indonesia ada budaya memikirkan perasaan orang lain. Maksudnya budaya yang saling tidak mau sakit hati. Dan tindakan ‘minta mawas diri’ ada sebagian menunjuk kesalahan orang. Maka di Indonesia tidak bisa membiasakan budaya ‘mawas diri’”.

Akan tetapi, kalau selesai begitu saja, tidak bisa diharapkan “meningkatkan kemampuan sebagai manusia” yang saya sering katakan. Kalau betul-betul mau masuk surga, tidak bisa hindari “mawas diri”. Sebenarnya saya sendiri setiap saat mawas diri terus. “Tadi sebaiknya begitu” “Waduh itu kesalahan saya” dsb. Baru-baru ini, saya mengumumkan mengenai saya sebagai “BAPER (bawa perasaan)” kepada orang lain. Sepertinya saya dianggap adalah orang pesimis. Namun karena setiap saat saya mawas diri, maka ada saya yang sekarang ini. Sebaliknya saya percaya diri seperti itu juga.

Apakah menjalankan setiap hari, dengan menghindari saling menyakiti hati dan hidup dengan rasa enak saja (teman yang tadi bilang mastgerbasion), atau walaupun dikatakan orang pesimis, sering mawas diri dan memajukan diri sendiri dengan pasti menuju ke surga. Dan apakah memiliki hal tersebut dengan orang lain? Yang mana yang baik? Bagaimana pendapat anda?

**ガドガド GADO-GADO**

私が常日頃考えている様々なことを毎月ご紹介いたします。
Mengenalkan setiap bulan, apa yang saya memikirkan sehari-hari.

2020年を振り返って

2020年はまさしく激動の年でした。そして、その激動の年は実は見る方向によって全く違った年に見えます。おそらく一般のテレビや新聞などから情報を得ている人にとっては「コロナに振り回された年」でしかなかったと思います。しかし、ネットなどで様々な情報に接した人にとってはそれはそれは奥が深い、人類の歴史にとって非常に意味がある年であるということに気づいたことでしょう。

私はこの「こむにかしIJ」でも第三次世界大戦の到来のような言い方を何度かしてきました。その前提に立って、2020年から現在そして将来に至るまで何が起きているのかを自分なりにネットの情報を元に分析してみたいと思います。

まず、この動きは予め計画され、その計画通りに動いているということです。2019年、アメリカのジョンホプキンス大学において「イベント201」という会議が開かれました。そこにおいて話し合われたのは、以下のような内容であったとされています。生物兵器によって世界中を困難に陥れる。感染対策のための都市封鎖を行い、経済活動を混乱させる。ワクチン摂取を強制。そのワクチンの中に特殊な成分（例えばナガレースというビタミンDの生成を抑える成分）を混入させ、人類の生殖機能を低下させ、世界の人口を削減する。

そして、今現在もその計画通りに進んでいます。ただし、当初の計画と少しずれたのは、コロナの毒性が予定より低かったことです。そこで登場したのがPCR検査です。これは遺伝子を増幅させることにより、その遺伝子が体内にあるかどうかを調べるものです。本来、感染を調べるために使う手法ではありませんでしたが、無理やり感染の有無を調べる手法として世界中に広めました。そして、検査の際の増幅率を意識的に多くし、多くの人が陽性になるような仕組みを作りました。さらに、本来、陽性になったことは必ずしも感染していることではないのに、陽性＝感染として多くの人の危機感を煽ったのです。

実は、この状況を解決する素晴らしい薬があります。アビガンです。アビガンはRNAウイルスの細胞内での増幅を阻止する薬です。ですから、コロナに限らず、HIV、肝炎など様々な病気を予防し、治すことができます。エボラ出血熱の対策では偉大な効果を示しました。しかし、もし、このアビガンのことが知れ渡り、多くの人がアビガンを使い始めたら、当初の計画が失敗してしまいます。それどころか、多くの人を病気にして、その治療で金儲けをするという、素晴らしい錬金術もなくなってしまいます。ですから、未だにこのアビガンの承認がひたすら先延ばしにされているのです。実際にアビガンの承認が先延ばしにされ続けていることがその大きなそして明確な証拠です。

アビガン以外にこの計画を阻止する大きな力があります。それはトランプです。トランプ



は今までのそのような動き（イベント 201 の裏にある、戦争などを引き起こして一部の人が金儲けを続ける動き・深奥政府・ディープステート・DS）を知っていて、様々な方法でその動きを阻止してきました。その 1 番の証拠は歴代のアメリカ大統領の中で任期中に戦争をしなかったのはトランプだけだということです。

ですから、DS にとってトランプは目の上のタンコブであり、どうしても闇に葬り去りたい人物です。ですから、今回の選挙でどうしてもバイデンを勝たせたかったのです。そのために行った作戦が、感染が怖いから郵便投票で、というものです。実際、その郵便投票を通し、大規模な不正が行われたことは、ネットで情報を得ている人にとっては全く明確な事実です。しかし、実際、今のところ選挙で勝ったのはバイデンであり、トランプは不正選挙をでっち上げてゴネているだけだということになっています。

どうして、そのようになっているのでしょうか。全く、簡単なことです。世界中のマスコミを牛耳っているのがまさしく DS だからです。その証拠にトランプやその周辺のトランプを支持する勢力の関係する Twitter や YouTube などの SNS のアカウントが停止されました。

このように起こっている状況を素直な目で見るとおかしいことがたくさん起こっています。そして、多くの人一般のマスコミの情報に疑問を持ち YouTube などに登録しています。その登録者の数は数万人から数十万人に達しているものもあります。これは喜ばしい状況であると思います。

さて、この DS の動きにも関連すると思いますが、宗教の予言に言及する動きも出てきています。そして、それは一定の宗教だけでなく、ほとんどの宗教がそのことに触れています。要は「この世の中は腐りきっているので、その大変換、浄化の時期が訪れるであろう」というものです。そして、その時期がまさしく今なのです。私は数年前からその動きを察していたので、いよいよきたな、という感じです。

その他、書きたいことはいろいろありますが、数千年の人類の歴史の中での大変換の時期の真っ最中にあると信じています。そして、その時期に巡り合っていることを楽しみたいと思います。この時期を乗り越えて、人間の成長が尊重される素晴らしい時代が来ることを楽しみにしています。

先日見たテレビドラマ「リーガル・ハイ・スペシャル」の中でこのような言葉がありました。「いじめを形作っているものは『空気』である。そしてその『空気』とは多数意見に抗うことができない雰囲気のことである。」

「いじめ」の際たるものが戦争ではないでしょうか。本当に戦争が起こらない真の平和な世界を築くためには二つのポイントがあると思います。一つは DS がやっているような戦争を起こす仕組みを暴露し、それに対抗すること。もう一つは「空気」を打ち破り、「いじめ」に対抗する勇気を多くの人々が持つことです。

この二つの動きがまさしく今起きているのだと思います。



Dengan melihat kejadian tahun 2020

Tahun 2020 adalah betul-betul tahun yang dinamis. Dan tahun dinamis tersebut, kelihatannya sangat berbeda tergantung arah pandangan. Mungkin bagi orang yang dapat informasi dari TV dan koran umum, hanya dianggap “tahun yang dikacaukan oleh Corona” saja. Namun bagi orang yang mendapatkan dan menyentuh berbagai informasi dari internet dsb., mungkin menyadari bahwa tahun yang sangat berarti bagi sejarah umat manusia yang sangat dalam.

Saya sendiri, dengan “Komunikasi IJ” ini juga, beberapa kali menulis seperti datang perang dunia ke tiga. Dengan berdasarkan pikiran tersebut, saya ingin coba analisa apa yang sedang terjadi sejak tahun 2020, sekarang, dan akan datang, secara pribadi melalui informasi internet.

Pertama-tama, kondisi ini ternyata apa yang telah direncanakan dan dilaksanakan sesuai rencana tersebut. Pada tahun 2019, di Universitas Johns Hopkins Amerika diadakan meeting bernama “Ivent 201”. Apa yang dibicarakan di situ, katanya kira-kira sebagai berikut. Melalui senjata biologi, mengacaukan seluruh dunia. Untuk pencegahan penyebaran virus, menutup kota (lock down) dan mengacaukan perekonomian. Mengharuskan suntik vactine. Di dalam vactine tersebut mencampurkan zat khusus (misalnya Nagalase yang menghambat pembuatan vitamine D), dan menurunkan daya reproduksi umat manusia lalu mengurangi jumlah penduduk dunia.

Dan saat ini juga berjalan sesuai rencana tersebut. Hanya hal yang sedikit meleset dari rencana semula adalah tingkat kematian dari virus Corona, lebih lemah daripada rencana. Di situ yang muncul adalah periksa dengan cara PCR. Ini adalah dengan mengembangkan DNA dan mengacak apakah DNA tersebut ada di dalam tubuh atau tidak. Sebenarnya cara tersebut bukan dikembangkan untuk memeriksa penyebaran virus. Namun dengan paksa, menyebarkan pada seluruh dunia sebagai cara memeriksa kena / tidak kena virus. Dan menciptakan suatu sistem, iyalah tingkat pengembangan DNA di besarkan supaya banyak orang dinyatakan positif. Dan ditambah lagi, sebenarnya positif belum berarti kena penyakit, namun dinyatakan kena virus sama dengan kena penyakit, menakut-nakuti banyak orang.

Sebenarnya ada obat yang sangat bagus untuk menyelesaikan masalah ini. Ialah Avigan. Avigan adalah obat yang menghalang perkembangan virus RNA di dalam sel. Oleh karena itu, bisa mencegah dan menyembukan bukan hanya Corona saja, HIV, hepatitis dll. Untuk mengatasi Evola virus disease (EVD), dibuktikan khasiatnya. Akan tetapi jika banyak orang mengenal Avigan ini dan menggunakannya, rencana semula menjadi gagal. Bukan hanya itu saja, sistem mendapatkan banyak uang yang mana membuat orang sakit dan dapat uang dengan pengobatan tersebut, itu sendiri bisa hilang. Oleh karena itulah, perizinan penggunaan Avigan ini, ditunda terus. Secara nyata perizinan Avigan ditunda terus, itulah bukti yang sangat besar dan jelas.

Selain Avigan, ada kekuatan yang menghambat rencana tersebut. Ialah Trump. Bapak Trump mengenal gerakan-gerakan seperti itu (gerakan yang sebagian orang mendapatkan



uang terus degnan mengadakan peran dsb., yang ada di belakang Ivent 201, yang disebut Deep State (DS)), dan dengan cara berbagai macam menghambat gerakan tersebut. Bukti yang paling pertama adalah, di antara Presiden Amerika yang banyak sekali, dalam tugas sebagai presiden tidak mengadakan peran, adalah hanya Trump saja.

Oleh karena itu, menurut DS, Trump adalah kambing hitam dan orang yang bagaimana pun ingin dihilangkan. Oleh karena itulah dengan pemilu kali ini, ingin dimenangkan Biden. Siasat yang dilakukan untuk itu, adalah supaya mencegah penyebaran virus, isi suara dengan melalui pos. Orang yang dapat informasi melalui internet, semua tahu dan telah terbukti, bahwa dengan isi suara melalui pos tersebut, diadakan permainan jumlah suara besar-besaran. Akan tetapi sekarang dianggap yang menang adalah Biden dan kalau Trump hanya membuat cerita permainan suara dan hanya ngotot saja.

Kenapa sampai menjadi begitu? Jawabannya gampang sekali. Karena yang menguasai media seluruh dunia adalah DS. Buktinya account SNS seperti Twitter dan You Tube Trump dan orang-orng mendukung Trump, dihentikan.

Dengan begitu, banyak hal yang aneh terjadi secara nyata. Dan kondisi tersebut bisa diketahui aneh kalau melihat mata yang tulus. Dan banyak orang mulai curiga terhadap informasi media masa umum, dan subscribe pada YouTube dsb. Dan jumlah subscriber tersebut, ada yang mencapai puluhan bahkan ratusan ribu. Menurut saya, fenomena ini fenomena yang sangat menyenangkan.

Ngomong-ngomong mungkin ada hubungan gerakan DS, ada gerakan yang mempermasalahkan ramalan dari agama. Dan hal tersebut bukan hanya suatu agama saja, namun hampir semua agama mempermasalahkan. Maksudnya seperti “Karena dunia ini sudah mulai busuk, maka akan datang waktu untuk merubahkan besar-besaran, dan mensucikan”. Dan “waktu” tersebut adalah sekarang. Kalau saya merasakan datangnya “waktu” tersebut sejak beberapa tahun lalu, maka saya merasa “oh akhirnya datang ya”.

Sebenarnya selain itu, banyak hal yang ingin ditulis di sini, namun intinya saya percaya bahwa dalam sejarah umat manusia selama ribuan tahun, sekarang kita ada di dalam masa perubahan yang besar-besaran. Dan saya ingin menyenangkan karena bisa melihat kondisi perubahan tersebut dengan mata sendiri. Saya menanti-nantikan dengan melewati masa ini, dan menyambut zaman yang menyenangkan yang mana mementingkan perkembangan manusia.

Di dalam drama TV bernama “Legal High Special” ada kata sebagai berikut. “Yang membentuk bully (IJIME) adalah ‘Suasana’. Dan ‘Suasana’ adalah suatu suasana yang tidak bisa melawan opini mayoritas”.

Bukankah “Bully (IJIME)” yang paling tinggi adalah perang? Menurut saya ada 2 poin untuk tidak terjadi perang yang sebenarnya, dan menciptakan perdamaian yang sebenarnya. Pertama adalah kita membongkar, mengumumkan sistem menciptakan perang seperti yang dilakukan oleh DS, dan melawannya. Dan satu lagi membongkar “Suasana” dan banyak orang mempunyai keberanian untuk melawan “bully (IJIME)”.

Saya yakin, gerakan dua macam ini, sekarang sedang terjadi.



新ユートピア Dunia Impian

インドネシアと日本とが協力すれば、今までにない素晴らしい世界が出来るのではないのでしょうか。
そういった観点から私の夢を広げていきたいと思えます。
Jika kerja sama dengan Indonesia dan Jepang, ada kemungkinan bisa menciptakan dunia bagus yang sebelumnya tidak ada.
Dengan dasar pikiran seperti itu, saya menerangkan impian saya.

ユートピア (18) マッサージ

今はほとんどの病気がマッサージで治すのが普通になっています。すべての温泉施設にはマッサージの施設もあり、温泉とマッサージの併用でほとんどの人が元気になります。

以前は病気になると薬や手術によって病気を治していましたが、最近はマッサージの効用が見直されています。そのため、普通の学校でもマッサージの基礎知識を学べるようになりました。そこでは主要なツボ、血流をよくするための方法、血流が悪くなった場合の症状など、様々なことを学びます。

それで、多くの人々がマッサージができるようになりました。ちょっと体の具合が悪くなるとすぐ家族や近所の人にマッサージしてもらっています。

Dunia impian (18) Massage

Sekarang mengenai hampir semua penyakit, sudah terbiasa diobati dengan massage. Semua fasilitas air panas disertai fasilitas massage, maka dengan berendam air panas dan massage, hampir semua orang menjadi sehat kembali.

Kalau dulu, begitu menjadi sakit, biasanya diatasi dengan obat dan operasi. Namun baru-baru ini mulai mementingkan massage. Oleh karena itu, walaupun sekolah biasa, bisa mempelajari pengetahuan dasar mengenai massage. Di situ bisa mempelajari berbagai macam, seperti titik-titik akupuntur, cara melancarkan pengaliran darah, gejala-gejala jika pengaliran darah menjadi tidak lancar dsb.

Dengan begitu, banyak orang menjadi bisa massage. Kalau merasa kondisi badannya tidak enak, langsung dimassage oleh orang keluarga atau orang tetangga.

ホームページアドレス広告募集
「こむにかし I J」を送付する際の送付状にホームページのアドレスと簡単な説明書きを付けてお送りします。説明書きは日本語とインドネシア語です。現在、6,000名以上の方に案内のメールをお送りしています。一件 38 万ルピア

Iklan Adress WebSite
Pada waktu mengirim "Komunikasi IJ", memasang adress WebSite anda dengan keterangan singkat, pada e-mail. Keterangan tersebut dipasang dalam bahasa Indonesia dan bahasa Jepang. Sekarang mengirim e-mail informasi, lebih dari 2,000 orang. Harga satu iklan: Rp.380.000-

**Let's Positiv Thinking**

世の中がよく見えるも悪く見えるも考え次第。自分の考え方をコントロールすることができれば、今までにない素晴らしい人生を送ることができます。
Kelihatan dunia ini, menjadi baik atau menjadi buruk, semua tergantung cara pikir sendiri.
Jika bisa kontrol cara pikir sendiri, bisa hidup dalam kehidupan yang bagus yang selama ini belum pernah dirasakan.

罪障消滅

仏法に罪障消滅という言葉があります。これは正しい行いにより、過去からの業を浄化していくという意味です。おそらく他の宗教でも似たような考え方があると思います。

私たちは輪廻転生により過去からの数え切れない業を受け継いで、どんどん増やしています。その業をどこかで断ち切らないことには成仏できない、つまり天国に行けないという考え方です。

去年はコロナの影響で、社会的にも、会社的にもそして個人的にもいろいろなことがありました。かなり厳しい年でした。それらの出来事を「過去からの業を浄化するために起きたこと」と捉えることで、最近心が楽になっています。

ただし、「業を浄化する」ためには「正しい行い」が必要です。「正しい行い」とは「神様の意に即した行い」とも言えるのではないのでしょうか。そして、それと反対方向にあるのが貪瞋痴と言われるものです。私利私欲に走らず、感謝を忘れず、真実を知る努力をしていれば、罪障消滅、業の浄化ができると信じています。そして自分の周りで起きている様々な不幸はそのためのプロセスであると考えれば、かなり心が楽になると思います。

Menghapus dosa

Di hukum Budha, ada kata “hapus dosa”. Maksudnya berdasarkan tindakan yang benar, mensucikan dosa / karma masa lalu. Walaupun agama yang lain, mungkin ada ajaran yang seperti ini.

Karena reinkarnasi, kita menumpuk dosa / karma yang sampai tidak bisa terhitung sejak lama, dan bertambah terus. Dan jika tidak memutuskan dosa / karma tersebut, tidak bisa diterima Tuhan / tidak bisa masuk surga. Ajarannya seperti itu.

Tahun lalu karena ada Corona, terjadi macam-macam baik secara masyarakat, kantor maupun secara pribadi. Betul-betul menjadi tahun yang menyusahkan. Dan terhadap kejadian-kejadian tersebut, dengan anggap “hal yang terjadi demi mensucikan dosa / karma yang sejak dulu”, baru-baru ini saya sendiri hati / perasaannya menjadi ringan.

Akan tetapi, untuk “mensucikan dosa / karma”, diperlukan “tindakan yang benar”. “Tindakan yang benar” bukankah boleh dikatakan “tindakan yang sesuai keinginan Tuhan”. Dan yang berada di arah yang berlawanan adalah yang disebut keserakahan / kemarahan / kebodohan. Saya percaya bahwa asal kita berusaha dengan tanpa menuntut keuntungan sendiri, tanpa rasa terima kasih, dan menuntut kebenaran, bisa hapus dosa, mensucikan dosa / karma. Dan jika anggap berbagai malapetaka yang terjadi di sekitar sendiri, adalah suatu proses untuk itu, mungkin hatinya betul-betul menjadi ringan.

**インドネシアとの出会い Mengenal Indonesia**

筆者（奥信行）がインドネシアと出会ってから結婚するまでの物語です。Kisah penulis (Nobuyuki Oku), sejak mengenal Indonesia sampai menikah.

BIPA

いよいよインドネシア大学での授業が始まりました。インドネシア大学のキャンパスがジャカルタからデポックに移動してからの一期生となります。文学部（現在人文学部）の中に外国人のためのインドネシア語コースがあります。Bahasa Indonesia untuk Penutur Asing 通称 BIPA（ビッパ）と言います。そこでインドネシア語を勉強しました。インドネシアの大学の場合、前期・後期と分かれていてそれをセメスターと呼びます。BIPA は 3 セメスターつまり一年半のコースです。授業料は確か 1 セメスター 1700 ドルぐらいだったと思います。

1 セメスター目はインドネシア文学の先生が教えてくれました。インドネシアの友達に聞いたところ有名な作家の先生も何人かいたようです。私のクラスはほとんど日本人で十数人いたと思います。正直言ってインドネシア語の授業の際、その友達と日本語で話をする機会が多かったのも、どちらかという授業以外の方がインドネシア語の会話の勉強になっていたような気がします。

2 セメスター目からはインドネシア文学の先生ではなく、言語学の先生になりました。どうも理論的なことが多く、授業はあまり面白くありませんでした。ですから、平日でもインドネシア人の友達に誘われると授業をさぼってそっちの方に行っていました。

ある日、旅行会社で働いていた友達が日本からボーイスカウトの団体が来てプロウ・スリブ、千の島々と呼ばれるジャカルタの北に浮かぶサンゴ礁の島々、に行くので一緒に行かないかと誘われました。私は喜んで行くことにしました。まあ、今思うと観光のアテンドの手伝いということだったようです。ボーイスカウトの子供たちを無人島に住まわせ、指導役の大人が無線で指示をするというものです。大人は居心地の良いコテージに寝てそこから指導するわけです。なんだか違和感を感じました。

特に一部屋二人になっていたことに対し、「男二人で同じ部屋に寝るのか、俺たちはオカマじゅやないぞ」というクレームが来た際には正直嫌悪感さえ覚えました。インドネシアにいて今まであまり気づかなかった日本人の嫌な部分を見ることがたまにあります。

後日、BIPA でインドネシア語で作文を作る授業がありました。その際、プロウ・スリブでの経験をインドネシア語で書いたら、先生から「授業をサボって行ったことを書くな」と文句を言われました。

私はそのようにしょっちゅう授業をサボってインドネシア人の友達といろいろな所へ行っていました。幸い、その時は新しい BIPA が始まったばかりということもあり、出席率に関する決まりがまだなかったので、たくさんサボっても卒業することができました。

私の次の世代から出席率に関する厳しい決まりができたと聞いています。もしかしたら私がサボりすぎたせいかと申し訳なく思っています。



BIPA

Akhirnya mulai kuliah di Universitas Indonesia (UI). Boleh dikatakan saya menjadi angkatan pertama setelah kampus UI pindah dari Jakarta ke Depok. Di dalam fakultas sastra (sekarang fakultas ilmu budaya) ada kursus bahasa Indonesia untuk orang asing. Disebut Bahasa Indonesia untuk Penutur Asing (BIPA). Saya belajar bahasa Indonesia di situ. Kalau di Indonesia 1 tahun dibagi 2 dan masing-masing disebut semester. Kalau BIPA terdiri dari 3 semester, berarti 1 tahun setengah. Kalau tidak salah biaya sekolah BIPA 1 semester sekitar 1700 dolar.

Semester pertama diajari dosen sastra Indonesia. Begitu saya tanya ke teman orang Indonesia, ternyata beberapa dosen yang mengajar adalah penulis terkenal di Indonesia. Kalau kelas saya hampir semua orang Jepang dan jumlahnya belasan orang. Kalau ngomong jujur, waktu kuliah bahasa Indonesia, ada kesempatannya banyak untuk berbicara dengan bahasa Jepang dengan teman-teman tersebut, maka saya merasa lebih bagus selain kuliah untuk belajar percakapan bahasa Indonesia.

Dari semester 2, yang ngajar bukan dosen sastra Indonesia, namun dosen linguistik. Kayaknya kebanyakan teori, maka saya tidak begitu tertarik kuliah. Maka walaupun hari biasa, jika diajak sama teman orang Indonesia, saya bolos kuliah dan mengikuti mereka.

Suatu hari, saya diajak sama teman orang Indonesia yang sedang bekerja di agen travel. Katanya datang rombongan pramuka dari Jepang dan ke pulau seribu. Saya ikut dengan senang hati. Kalau memikirkan sekarang, saya menjadi pembantu atend wisata. Anak-anak pramuka suruh tinggal di pulau yang tidak ada penduduk, dan orang dewasa sebagai pembimbing, membimbing dengan menggunakan HT (Hand Taking). Kalau orang dewasa tinggal di kotage yang nyaman, dan membimbing dari situ. Saya merasa agak aneh.

Pada waktu dapat claim, karena satu kamar dua orang, mereka bilang “laki-laki 2 orang masa tidur sama-sama di 1 kamar! Kami bukan banci lho!”, dengan jujur saya merasa sampai benci mereka. Kalau tinggal di Indonesia, kadang-kadang melihat sisi tidak bagus dari orang Jepang yang belum pernah dirasakan.

Beberapa hari kemudian, di kuliah disuruh membuat karangan dengan bahasa Indonesia. Saya menulis kisah yang dialami di pulau seribu. Ternyata saya ditegor “jangan menulis apa yang terjadi dalam bolos kuliah!”.

Dengan begitu, saya sering bolos kuliah dan sama-sama teman orang Indonesia pergi ke mana-mana. Untungnya karena BIPA baru mulai, dan tidak ada peraturan mengenai kehadiran, maka walaupun bolos banyak akhirnya bisa lulus.

Saya dengar dari angkatan berikut, terjadi peraturan yang ketat mengenai kehadiran. Jangan-jangan karena saya bolos banyak. Maka saya merasa minta maaf pada adik kelas BIPA.

**フローレスを偲んで Aku Terkenang Flores**

第二次大戦中にフローレス島を統治していたサトウ・タスク大尉の手記です。
原本は英語。それをインドネシア語に翻訳したものを出版社の協力を得て日本語の翻訳を添えて掲載できるようになりました。
Buku catatan Kapten Tasuku Sato, yang menangani pulau Flores, pada perang dunia kedua.
Aslinya bahasa Inggris. Dengan dukungan penerbit, yang diterjemahkan ke bahasa Indonesia, bisa ditampilkan di sini, berikut terjemahan bahasa Jepang.
購入等の連絡は直接下記出版社まで。Jika ingin beli buku, tolong hubungi penerbit yang ada di bawah ini.
Nusa Indah: e-mail: nusaindahende@yahoo.com hendrik_kerans@yahoo.com

Bagian Pertama: Tugas di lautan Pasifik

4. Membalik-balik Dokumen (6)

Gedung-gedung gereja, menurut pengamatanku, adalah monumen atau kenangan akan pengorbanan dan iman umat. Gedung-gedung itu dibangun indah dan megah dengan maksud mengangkat hati orang-orang ke atas. Jika mereka membangunnya untuk maksud lain, misalnya karena hendak menyombongkan kebudayaan, hal itu berarti tujuan kedatangan mereka telah kabur dan agama pun menemukan keruntuhan. Mempertontonkan kebudayaan dan peradaban sama sekali bukan alasan bagi para misionaris muda untuk pergi ke negeri jauh. Bahkan memperbaiki cara hidup lahir umat adalah tugas terpuji, tetapi toh cuma sekunder saja dalam karya mereka.

Selain itu, dokumen juga mengecam usaha-usaha ekonomi dari pihak misi. Misalnya, usaha perladangan, perkebunan kopi dan kebun kelapa yang diurus oleh para bruder untuk mendukung karya misi di Flores. Cara mengurusnya yang berdasarkan pengetahuan ilmiah sangat berbeda dengan cara-cara yang dipraktekkan oleh rakyat Flores sendiri. Saya sendiri cenderung untuk tidak melancarkan kecaman terhadap usaha-usaha seperti itu, malahan menganggapnya sebagai satu tantangan terhadap rakyat Flores dan juga bagi pemerintahan kita. Karena hal ini dapat mendorong kita untuk berbuat sesuatu yang berfaedah demi kebahagiaan dan kemakmuran rakyat.

Para misionaris juga dituduh angkuh dan menonjolkan diri sebagai ras unggul. Barangkali ini benar untuk bangsa kulit putih tertentu. Tiap laporan itu bersifat generalisasi yang tidak berdasarkan kenyataan. Para misionaris yang mengkhotbahkan bahwa semua manusia sama rata di hadapan Allah dan mengajarkan agama universal bagi setiap orang sebagaimana dianut oleh agama Katolik, tidak dapat dikatakan angkuh dan memandang rendah rakyat setempat.

Orang-orang ini, sebagaimana saya sendiri saksikan, berpendidikan, berbakat dan mempunyai keterampilan, dan dari apa yang mereka telah capai memang membuat mereka unggul, tetapi mereka juga rendah hati.

Sungguh mudah mencari-cari kesalahan dengan cara ini. Amat sulit mengakui apa yang mereka perbuat terhadap misi dan untuk rakyat setempat. Dengan pendidikan mereka yang khusus ditambah bakat-bakat yang khusus pula, para misionaris mungkin saja meragukan usaha-usaha penduduk pribumi dalam membuat sesuatu dengan cara berbeda dari kebiasaan mereka sendiri. Akan tetapi, hal ini hampir tidak dapat disebut satu sikap sombong atau rasa tinggi diri.



第1章 太平洋における任務

4. 資料を読み漁る (6)

教会の建物だが、私は信徒の犠牲および信仰のモニュメントもしくは郷愁なのではないかと思っている。それらの建物は人々の心を上に引き上げるために美しく荘厳に建てられている。もし彼らがそれ以外の目的でそれらを建設したのであれば、例えば文化を見せびらかすためとか、それは彼らがやってきた目的から逃げたことになり、宗教も崩れ落ちたことになる。文化と文明を見せびらかすことは若い宣教師たちが遠い国にやってきた理由では決してない。それどころか信徒の人生を立て直すことは褒められるべき任務である。しかし、彼らの作品の中ではほんの二次的なものである。

それ以外に資料は宣教側からの経済的な事業も批判している。例えばフローレスにおける伝道団の活動を支援するため聖職者らによって運営されている畑作、コーヒー園、そしてヤシ園である。運営の仕方は科学的な知識に基づくものであり、フローレスの民衆によって行われていたものと非常に異なるものであった。私自身そのような事業に対する批判を行うつもりはない。それどころか、フローレスの民衆そして我々の政府に対する一つの挑戦として捉えている。このことによって民衆の幸福と繁栄のためのある効用をなすため我々を後押ししている。

宣教師らが傲慢で自分自身が優秀な人種であることを強調していることも批判している。おそらく一部の白人人種については正しい。しかし、その報告は事実在即しない一般的なものである。説教を行っている宣教師らはカトリック教が唱えているように、神（アラー）の下では平等であり、全ての人に対し世界的な宗教を教えている。傲慢でその土地の民衆を見下しているとは言い切れない。

これらの人々は、私自身が見たところによると、教養があり、才能があり、技術があり、そして彼らが達成したものは確かに彼らを優秀なものと示している。しかし彼らも腰が低い。

この方法によって間違いを探すことは非常に容易なことである。伝道団とその土地の民衆に対し彼らがどのような活動をしているかを認知することは非常に困難だ。彼らの特別な教育により特別な能力を新たに得てもいる。伝道師らは彼ら自身が普段行っているやり方と違う方法であるものを作っている土着の民衆の事業について不安に思っていることであろう。しかし、このことについて傲慢な態度を示すことも自分を高く評価することもほとんど語られていない。



幼児教育の基本 Dasar PAUD (Pendidikan Anak Usia Dini)

最近、残念なことにインドネシアでもいじめの問題が出始めているようです。私は個人的に幼児教育がいじめの問題に深く関わっているのではないかと考えています。この度日本の幼児教育の大家であられる飯田和也先生のご協力で幼児教育についてのお考えを掲載できる運びとなりました。

インドネシアのそして日本のいじめ問題その他に少しでも貢献できればとおもいます。

Sayangnya baru-baru ini, di Indonesia juga mulai muncul masalah bullying.

Saya secara pribadi anggap masalah bullying satu penyebabnya ada di PAUD.

Kali ini dengan kerja sama bapak Kazuya Iida seorang pakar PAUD besar di Jepang, dan bisa mengenalkan pikiran beriau.

Saya berharap bisa kontribusi untuk mengatasi masalah bullying, baik di Indonesia maupun di Jepnag.

小学校になって作文を好きになるポイント

書きたいものを発見する目と
事実と自分の意見を分ける力を見つけ
ハートマークでほめ上手な親

幼稚園を卒園して数年になる子どもの母親に学校の勉強はどうですかと聞くと毎日、絵本から文字だけの本を読むことを好きになりました。しかし、国語は嫌いと言って感想文は書けないと言っています。そこで文章を書くには知識・技術、特に、観察力が大事ですよという、母親は「そういえば施設見学でも様々なことを見つけて楽しかったと言っているのですが、感想文＝作文が書けなくてつらいと言っています。」ここで大学生にレポートの書き方を伝えていたことをまとめました。

大学生で高校までにレポートの書き方を教えられていない人が多い。特に本を読んで感想文を出しなさいという宿題を与えられているだけの経験しかない学生のレポートは何が書いてあるか理解に苦しむことが多い。一冊の本を読んだ感想をまとめて提出しているために具体的でなく焦点がボケ、書きたいものが何か理解できない状態です。特に、何でもいいから思いついた言葉を書いていると書けるようになるという指導では正しい文章に結びつきません。

大切なことは事実と自分の意見を分けて書くということをお母さんは教えてあげてほしいものです。また、書きたいものは何か、自分の目で見ただこと・聞いた・触った・匂いを嗅いだ・味わった感じたことをしっかりととらえることを気づかせることから始まります。大学生には観察力をつけることで書きたいことを見つけること、そして、きれいな正しい文を書けるようになるには、本を写すことですと伝えました。昔の小説家は立派な本を一冊丸写して小説家になった人が多かったです。音楽の作曲家は楽譜を写して作曲の勉強をしました。絵本に親しむとは正しい本の言葉を聞くこと、そして、小学校になったら学校で使うきれいな国語の文をていねいに写すことから始まります。書きながら言葉の使い方を覚えることです、ダラダラと書くのではなく一つ一つといった最初の基本を身につけて書きたいものを観察する能力を磨かせたいものです。幼稚園・こども園・保育園の時に親は絵本を優しく読んで丁寧に言葉を伝え、本を大好きになる雰囲気を作ることで正しい言葉を使う基本を作ります。そして感性を磨くために観察力を育てることと話している時、あなたのために腰を落ち着けてじっくり聞いていますよという態度をこころがけて子どもの表現力を身につけます。小学校以上の作文でここでは事実にはハートマーク ♥、そして自分の意見にも ♥をつけて事実と意見の違いを親が伝えます。感想文でない作文を書けるように母親のほめ上手と読み聞かせを多くしたいものです。





Poin agar menjadi suka mengarang setelah menjadi anak SD

Orang tua yang bisa menemukan mata yang mencari apa yang ingin ditulis, dan daya membedakan kenyataan dan opini sendiri, lalu memuji dengan tanda hati

Kepada ibu dari anak yang telah lulus TK dan sudah melewati beberapa tahun, begitu tanya “bagaimana belajar di sekolah?”, jawabannya anak saya suka baca buku yang hanya huruf saja, daripada buku gambar. Akan tetapi katanya pelajaran bahasa tidak suka dan tidak bisa mengarang kesan-kesan. Di situ, saya mengatakan “untuk mengarang selain pengetahuan dan teknis, sebenarnya yang penting daya memantau lho”. Ibu bilang “oh iya, dengan studi tur juga anak saya bilang senang sekali karena menemukan hal macam-macam, namun tidak senang karena tidak bisa mengarang kesan-kesan.” Di situ saya simpulkan apa yang saya sampaikan pada mahasiswa bagaimana menulis laporan (report).

Di dalam mahasiswa, banyak yang belum pernah diajari cara menulis laporan (report) sampai SMA. Khususnya kalau laporan (report) yang ditulis oleh mahasiswa yang hanya ada pengalaman yang “dengan baca buku dan mengarang kesan-kesan” saja, susah mengerti apa yang ditulis. Karena mengajukan kesimpulan kesan-kesan setelah baca satu buku, tidak konkrit dan tidak terfokus, sehingga tidak bisa mengerti apa yang ingin ditulis. Khususnya dengan cara membimbing seperti asal menulis kata-kata yang diingat, ternyata menjadi bisa menulis, tidak bisa mengarang karangan yang benar.

Para ibu, tolong ajarkan bahwa yang penting adalah menulis dengan membedakan kenyataan dan opini sendiri. Dan mulai dari suruh menyadari seperti apa yang ingin ditulis, hal yang dilihat dengan mata sendiri, hal yang didengar, sentuh, mencium, merasakan dengan pasti. Terhadap mahasiswa, saya menyampaikan dengan mendapatkan daya memantau mencari apa yang ingin ditulis, dan agar bisa menulis kalimat yang benar, perlu menyalin buku. Kalau pengarang novel zama dulu, banyak yang menjadi pengarang novel dengan menyalin buku satu buku semua dari buku yang bagus. Kalau pencipta musik, mereka belajar mencipta musik dengan menyalin partitur (nota). Akrab buku gambar, maksudnya mendengar bahasa buku yang benar, lalu setelah menjadi anak SD, mulai menyalin kalimat dengan teliti dari kalimat bahasa yang indah yang digunakan di sekolah. Sambil menulis memahami cara menggunakan bahasa. Ingin mengasah kemampuan untuk memantau apa yang ingin ditulis, dengan bukan menulis tanpa konsentrasi, namun mendapatkan dasar pemula seperti satu persatu. Kalau orang tua dari anak TK, play group, penitipan anak, dengan membaca buku gambar dengan hati sayang, menyampaikan bahasa dengan halus, dan dengan menciptakan suasana yang bisa menjadi suka buku, menciptakan dasar untuk menggunakan bahasa yang benar. Dan membina daya memantau untuk mengasah daya menangkap sesuatu, lalu pada waktu berbicara memperhatikan tindakan bahwa untuk anda saya dengar dengan konsentrasi dengan tanpa ke mana-mana, suruh mendapatkan daya ekspresikan diri dari anak sendiri. Waktu mengarang setelah anak SD, terhadap kenyataan memberi tanda hati,  dan terhadap opini sendiri pun memberi tanda hati . Dengan begitu orang tua menyampaikan perbedaan antara kenyataan dan opini. Agar anak bisa mengarang bukan kalimat yang hanya kesan-kesan saja, sebagai ibu, ingin menjadi pintar memuji dan memperbanyak membacakan buku.



人間について考える Memikirkan mengenai manusia

日蓮正宗の御僧侶であられる笠松介道さんをお願いして毎月お感じになっておられることを書いていただくことになりました。仏教の御僧侶ではありますが、インドネシアには「神への信仰（宗教は違って同じものを信じている）」という考え方があります。正しい考え方は万国共通であると思います。このシリーズがインドネシアの発展のための一助になればと思います。

Dengan meminta bapak Kasamatsu Kaidoo seorang biksu dari Nichiren Shooshuu, menulis apa yang dipikirkan olehnya pada setiap bulan. Walaupun beliau biksu agama Budha, namun di Indonesia ada filsafat "Ketuhanan yang maha esa (walaupun agamanya berbeda tapi apa yang dipercaya hanya satu)". Saya berpikir kalau pikiran yang benar adalah universal. Saya berharap serial ini menjadi suatu sumbangan demi kemajuan Indonesia.

人間の基本 56

昔、テレビの無い時代には、ラジオ放送が盛んな時代があった。スポーツ・娯楽・ドラマ・ニュースなど、現在のテレビ放送の全てをラジオが担っていた時代である。そんな時代を経験した事のある人々ならば、すぐに思い出して貰える筈だが、耳に聞こえる声や音に集中しているとその情景が自分の頭の中に浮かんで来て、まるで自分が間近で見ているかの様な臨場感があった。ラジオは私達の想像力を大きく発達させてきた。それは亦、言葉の意味を深く理解しなければ伝わらない事を教えていたのである。言葉と云う『直接的伝達方法』がとても大切にされていた時代であった。

そして更に、ラジオすら無かった時代では、文字は言葉を残す方法として唯一『間接的伝達方法』として活躍したのである。但し、文字を理解する為には言葉と文字の双方を取得する必要性が生じた。言葉は自分の耳と口の相互関係に依って取得が可能であるが、文字は目でその形からその意味を認識するが、文字を書く為には手はその書き方を取得していなければ不可能なのである。その為に「読む」「書く」は、文字を使いこなす上には必須条件であり、教育が必要となる。

こうして必然的に生まれた人間の言語文化であるが、前述した通り言語は自分の「心」を表現する為に発生した文化であって、相手の「心」を理解する為の想像力と理解力を深める事を第一にされてきた。故に文字も言葉と同様にとっても大切にされてきた。

だが近年に至っては、本来の言語文化に「映像」と云う新たな文化（テレビやネット画像）が加わる事で大きな変化が生じてしまった。それは「映像」と云う媒体は、人間が過去に於いて言語文化で培ってきた「想像力」と「理解力」を一気にそぎ落としてしまった。その結果、目に見える（映像）モノ（表面上）が本場で、耳に聞こえるモノ（言葉や文字）がそれを証明していると理解する様になってしまった。

即ち「可視化」する事が何より最優先される結果を招いてしまったのである。だが此処に大きな矛盾点がある。「喜怒哀楽」の感情であれ、赤子の純粋な「悲喜の心」であれ、人間の言語文化の原点は、自分の「心」を伝える為に発生した人間特有の文化であった事に異を唱える人間は存在するのであるか！？その答えは否であろう。

「可視化」する事がより詳しい伝達手段であると信じる人間が増えると、それに比例して「可視化」出来ないモノに対しては不信感が増してくる。1969年7月11日アポロ11号が月面着陸に成功したと報じられ、世界中の人々が驚愕した。若しこの報道が音声や文字だけで伝えられたのであれば、50年後の私達の記憶には残っていないだろう。この様に「可視化」と云う新しい伝達方法に依って、私達現代人の多くは本来の言葉や文字を駆使する「心」の伝達方法に疎くなってきてると思われる。

それ故に、私達は「可視化」イコール「結果」と云う『結果第一主義』の考え方を蔓延させてしまった。此処にも人間社会に於いて、人々の「心」が作り出す「可視化」する事が不可能な『原因』には触れようとせず、「可視化」が可能な「結果」に執着してしまう人々が増えてしまった。即ち、自分の「心」を相手に伝える為の『言葉』や『文字』の使い方と理解度が衰えてしまった事に気付くべきなのである。そうしなければ人間が永い歴史の中で築いた言語文化は衰退してしまうだろう。



Dasar Manusia 56

Dulu, pada zaman yang tidak ada TV, ada zaman yang ramai dengan siaran radio. Zaman yang dilengkapi dan ditangani oleh TV zaman sekarang, seperti olahraga, entertainment, drama, berita dsb. Kalau orang-orang yang mengalami zaman seperti itu, mungkin langsung ingat kembali, bahwa jika konsentrasi pada suara yang didengar, akan membayangkan situasi tersebut di dalam pikiran, dan seperti diri-sendiri melihat itu di dekat. Radio mengembangkan daya imajinasi kita secara besar-besaran. Dan hal tersebut sekaligus mengajarkan pada kita bahwa harus menguasai arti bahasa sampai dalam. Boleh dikatakan zaman yang sangat mementingkan “Cara menyampaikan secara langsung”.

Dan ditambah lagi, jika zaman radio pun tidak ada, kalau huruf menjadi aktif sebagai cara meninggalkan bahasa, dan sebagai satu-datunya “Cara menyampaikan secara tidak langsung” . Namun muncul keperluan bahwa untuk mengetahui huruf, harus menguasai bahasa dan huruf dua-duanya. Kalau bahasa, bisa didapat melalui hubungan reaksi antara kuping dan mulut sendiri, dan kalau huruf memahami arti dari bentuk tersebut, namun untuk menulis huruf harus memahami cara menulis oleh tangan, kalau tidak, tidak bisa. Demi menguasai huruf, “baca” dan “menulis” menjadi syarat yang harus dan memerlukan pendidikan.

Dengan demikian, budaya bahasa manusia dilahirkan secara alamiah. Seperti telah diceritakan, bahasa adalah budaya yang dilahirkan dengan mengutamakan mendalami daya imajinasi dan daya memahami demi memahami “hati” lawan bicara. Oleh karena itu, huruf juga dipentingkan bersama bahasa.

Namun baru-baru ini, ternyata muncul perubahan yang besar dengan menambah budaya baru selain budaya bahasa, iyalah “gambar / video” (TV dan internet). Dengan demikian karena adanya media bernama “gambar / video”, mengurangi “daya imajinasi” dan “daya memahami” yang dikembangkan oleh budaya bahasa sejak dulu secara sekaligus. Dan akibatnya kita memahami bahwa sesuatu (secara sosok) yang bisa melihat (gambar / video) itu benar, dan hal (bahasa dan huruf) yang bisa didengar itu menjelaskannya.

Maksudnya kita mengundang akibat, bahwa bagaimana pun paling unggul “bisa melihat”. Namun disinilah ada dilema yang besar. Baik emosi “gembira, marah, sedih, senang”, maupun “hari sedih senang” murni yang dipunyai bayi, kalau titik dasar budaya bahasa manusia, adalah budaya khusus bagi manusia yang buncul untuk menyampaikan “hati” sendiri. Apakah ada orang yang tidak setuju hal demikian!? Mungkin jawabannya tidak ada.

Jika bertambah manusia yang percaya bahwa dijadikan supaya “bisa melihat” itu cara menyampaikan dengan lebih detail, dengan seiring itu, terhadap sesuatu yang tidak bisa melihat bertambah rasa tidak percaya. Pada tanggal 11 Juli 1969, diberitakan bahwa Apollo No.11 sukses mendarat di permukaan bulan, dan orang-orang seluruh dunia menjadi kaget. Jika berita ini disampaikan dengan hanya suara dan huruf saja, mungkin tidak tertinggal di ingatan kita yang sudah lewat 50 tahun. Dengan demikian, melalui cara menyampaikan sesuatu yang baru bernama “agar bisa melihat”, kebanyakan kita manusia zaman moderen, diperkirakan makin kurang peka di atas cara menyampaikan “hati” yang menggunakan bahasa dan huruf yang sebenarnya.

Oleh karena itu, kita menyebarkan cara pikir “Prinsip mengutamakan hasil” seperti “hal yang bisa melihat” sama dengan “hasil”. Di sini pun di masyarakat manusia, orang-orang yang tanpa ingin menyentuh “Sebab” yang tidak bisa “melihat” yang mana diciptakan “hati” orang-orang, dan tergantung “hasil” yang “bisa melihat” bertambah. Maksudnya kita harus menyadari bahwa cara menggunakan “Bahasa” dan “Huruf” untuk menyampaikan “hati” sendiri terhadap lawan bicara dan tingkat memahami, telah menurun. Kalau tidak, budaya bahasa yang telah diciptakan dalam sejarah yang panjang sekali oleh manusia, akan menjadi punah.

**実践トヨタ流モノづくり Praktek Memproduksi dengan cara TOYOTA**

(株)平山の平山社長のご好意により、トヨタ流のモノづくりに関する本の内容を掲載することになりました。
トヨタ流のモノづくりを学び、みなさんの工場が更に発展することを願っています。

Dengan baik hati dari Bapak Hirayama selaku presiden direktur HIRAYAMA,
kami bisa mengenalkan isi buku yang menjelaskan memproduksi cara TOYOTA.

Kami berharap dengan mempelajari buku memproduksi cara TOYOTA dan pabrik anda lebih maju lagi.

(株)平山の詳しい情報につきましては下のホームページをご覧ください。

Mengenai informasi lebih lanjut HIRAYAMA silahkan mengunjungi website
<http://www.hirayamastaff.co.jp/index.html>

運搬の原則と効率 (4)**(2) 効率の良い運搬**

第2章 2.4において「運搬のムダ」の項で、モノを運ぶ作業でお金を稼ぐのは運送業者だけである。運搬はお金を食うだけで付加価値はゼロであるが、モノを扱っているかぎり、運ぶ行為はなくなる、と説明した。ここでは絶対に避けられない行為であるがゆえに知恵を出し、運び方を考えれば、在庫の削減やモノづくりの効率を助ける道具として使える運搬ポイントを解説する。

① 混載運搬

大は小を兼ねる。4トン車で1トンの荷物を運ぶことはできるが、1トン車で4トンの荷を運ぶためには、4往復しなければ運びきれない。運搬車両を購入するなら、大型車を使い勝手も効率も良いと考えられている。しかし、大きな荷台にわずかな荷を積んで走っている車両をよく見かける。満車の時もあるが、ほとんどが空気だけの時もある。運搬もモノづくりと同様、荷量のバラツキをなくすことはできない。

D社は、品物の組立に使う部品をA、B、Cの3社から調達している。1日に使う総量に振れはないが、個々の部品については増減がある。1日1回納入される3社が個々に仕立てた便の荷量は、4トン車に満載の場合もあれば、荷台にかなりの余裕のある場合もある。

3社の便が同じ時間帯に到着しても、荷降ろしは同時にはできない。時間差で待機は調整できるが、荷降ろしの時間帯や効率を考えるとゼロにはできない。荷量もパレット1枚単位の積載量が規定の容積にいっぱいの時もあれば、3分の1程度の時もあるが、リフトでの積み降ろしや工場内への運び込みは、すべてパレット1枚単位である。

運搬を効率性の観点から見て、大は小を兼ねない思想を具現化したのが混載運搬である。兼ねるということはムダを認めることで、矛盾を少しでも解消しつつ、効率を良くするために考え出されたものである。荷量の平均化と高い運搬が基礎となっている。

日刊工業新聞社、竹内俊夫著、(株)平山監修、
「実践トヨタ流モノづくり 図解で自動車生産世界一の極意を学ぶ」より



Prinsip pemindahan dan efisiensi 4

(2) Pemindahan efisiensi yang baik

Kami telah menjelaskan pada bab 2 bagian 2.4 “MUDA pemindahan”, bahwa yang bisa dapat profit dengan pemindahan barang adalah hanya jasa transportasi saja. Pemindahan hanya makan uang saja dan tidak ada nilai tambah. Namun asal kita menangani barang, tidak akan hilang tindakan pemindahan. Kami telah menjelaskan seperti itu. Karena pemindahan adalah salah satu tindakan yang tidak bisa dihindari, maka akan menjelaskan poin pemindahan agar bisa digunakan suatu alat untuk mengurangi stock dan meningkatkan efisiensi produksi, asal kita memikirkan cara pemindahan.

① Pemindahan bercampur

Lebih bagus besar daripada kecil. Bisa bawa barang 1 ton dengan truk 4 ton. Namun untuk bawa barang 4 ton dengan truk 1 ton, harus bolak balik 4 kali. Jika membeli truk, dianggap lebih bagus yang besar, baik segi praktek maupun efisiensi. Akan tetapi sering melihat dengan truk besar memuatkan barang yang hanya sedikit. Kadang-kadang penuh, namun ada juga hampir semua muatannya hanya udara saja. Mengenai pemindahan, seperti produksi tidak bisa menghilangkan fltulasi banyak sedikit.

Kalau di PT. D, menarik parts untuk assembly dari 3 PT, yaitu A, B, C. Jumlah total untuk digunakan dalam 1 hari, relatif stabil. Namun di atas parts masing-masing ada banyak sedikit. Jumlah barang yang dibawa oleh 3 PT yang didelivery 1 hari 1 kali, kadang-kadang penuh truk 4 ton, dan kadang-kadang ada sisa di atas truk.

Walaupun sampai pengiriman dari 3 PT sekaligus, tidak bisa menurunkan barang sekaligus. Memang bisa diatasi waktu menunggu dengan menggeserkan waktu, namun jika memikirkan waktu dan efisiensi untuk menurunkan barang, tidak bisa dijadikan zero. Volume barang juga, kadang-kadang penuh satu palet, dan kadang-kadang hanya 1 per 3 saja. Namun menurunkan dan memindahkan ke dalam pabrik dengan folk lift, selalu per-palet.

Melihat pemindahan dari segi efisiensi, dan tidak memikirkan “lebih bagus besar daripada kecil” itu adalah pemindahan bercampur. Jika memikirkan “lebih bagus” adalah kita menerima MUDA. Maka kita berusaha mengurangi ketidak sesuaian walaupun sedikit, dan agar bisa meningkatkan efisiensi. Itulah pemindahan bercampur. Dengan berdasarkan stabilisasi volume barang dan pemindahan efisiensi tinggi.

Dari buku “Praktek Memproduksi cara TOYOTA
–Mari mempelajari jurus nomor satu memproduksi otomotif
melalui penjelasan gambar –“
Perusahaan koran harian Industri, penulis: Toshio Takeuchi, disusun: HIRAYAMA



2021年3月のセミナーのご案内 Info Seminar bulan Maret 2021

- 24日(水) Tanggal 24 (Rabu)
 保安全管理 (MM) Maintenance Management [IDR]
 保安全管理から在庫管理そしてコスト管理に至るまでの一連の管理方法を学びます。
 Mempelajari pembuatan Maintenance System, Inventory Spare Parts sampai dengan Cost Manajemen.
- 25日(木) Tanggal 25 (Kamis)
 QC から QA へ (QA) Dari QC ke QA [OKU]
 品質保証に関する基本的な考え方を学びます。
 Mempelajari hal-hal dasar, mengenai jaminan mutu (Quality Assurance).
- ◇ 26日(金) Tanggal 26 (Jum'at)
 セーフティドライブ (SD) Safety Drive [OKU]
 ただ知らなかった。だから事故が起きてしまった。そう言ったことを防ぐためのセミナーです。
 Training untuk mencegah kecelakaan, terjadi karena hanya tidak tahu saja.

※ 上記スケジュール以外でもご対応可能です。

※ Selain jadwal yang di atas juga, dapat diadakan training sesuai permintaan.

※ 上記セミナーの具体的な内容は直接 PT. ISSI にお問い合わせください。

※ Informasi selanjutnya mengenai seminar di atas ini, tolong hubungi PT. ISSI

※ 全てインドネシア語によるセミナーです。Semua seminar menggunakan bahasa Indonesia.

※ 参加者には E マガジン「こむにかし I J」の全てのバックナンバーが入った CD-ROM をお渡ししています。

※ Peserta seminar mendapatkan CD-ROM yang berisi E-Magazine “Komunikasi IJ” semua edisi selama ini.

講師 / Trainer : 1. Oku Nobuyuki [OKU]

2. Indro Agung Handoko [IDR]

◇ Investasi 0.5 hari training : Rp.650.000,- / orang

半日間セミナーの参加費 : Rp.650.000,- / 名

● Investasi 1 hari training : Rp.1.280.000,- / orang

一日間セミナーの参加費 : Rp.1.280.000,- / 名

◆ Investasi 2 hari training : Rp.2.380.000,- / orang

二日間セミナーの参加費 : Rp.2.380.000,- / 名

Biaya bahan training : Rp.50.000,-/orang

教材費 : 5 万ルピア / 人

*Belum termasuk PPh 23

Formulir Pendaftaran Training PT. ISSI

Saya mendaftarkan diri pada Seminar : MM QA SD

Nama Lengkap Peserta (e-mail / HP) : _____

Nama Lengkap Pendaftar * (e-mail / HP) : _____

*Pendaftar :Penanggungjawab perusahaan

Nama Perusahaan (Jenis usaha) : _____

No. Tel. Kantor : _____

No. Fax. Kantor : _____

Alamat Kantor : _____

Cara pembayaran : Transfer Cash

Nomor rekening : PT. ISSI Bank BCA KCP Lippo Cikarang 5220302085



2021 年 4 月のセミナーのご案内 Info Seminar bulan April 2021

- ◆ 21 日 (水) 22 日 (木) Tanggal 21 (Rabu) & 22 (Kamis)
報連相 (HRS) Seminar HORENSO, (Komunikasi dalam perusahaan) [OKU]
職場における報連相の重要性、そして報連相をいかに深めるかを学びます。
Mempelajari bagaimana pentingnya HORENSO, dan bagaimana mendalaminya.
- 28 日 (水) Tanggal 28 (Rabu)
リーダーシップ (LS) Leadership [OKU]
部下のやる気を引き出すためのカードを中心に、その方法を学びます。
Mempelajari cara meningkatkan motivasi bawahan berdasarkan kartu motivasi.
- ◇ 29 日 (木) Tanggal 29 (Kamis) セーフティドライブ (SD) Safety Drive [OKU]
ただ知らなかった。だから事故が起きてしまった。そう言ったことを防ぐためのセミナーです。
Training untuk mencegah kecelakaan, terjadi karena hanya tidak tahu saja.

- ※ 上記セミナーの具体的な内容は直接 PT. ISSI にお問い合わせください。
- ※ Informasi selanjutnya mengenai seminar di atas ini, tolong hubungi PT. ISSI
- ※ 全てインドネシア語によるセミナーです。Semua seminar menggunakan bahasa Indonesia.
- ※ 参加者には E マガジン「こむにかし I J」の全てのバックナンバーが入った CD-ROM をお渡ししています。
- ※ Peserta seminar mendapatkan CD-ROM yang berisi E-Magazine “Komunikasi IJ” semua edisi selama ini.

講師 / Trainer : 1. Oku Nobuyuki [OKU]

- ◇ Investasi 0.5 hari training : Rp.650.000,- / orang 半日間セミナーの参加費 : Rp.650.000,- / 名
 - Investasi 1 hari training : Rp.1.280.000,- / orang 一日間セミナーの参加費 : Rp.1.280.000,- / 名
 - ◆ Investasi 2 hari training : Rp.2.380.000,- / orang 二日間セミナーの参加費 : Rp.2.380.000,- / 名
- Biaya bahan training : Rp.50.000,-/orang 教材費 : 5 万ルピア / 名

*Belum termasuk PPh 23

Kami menerima InHouse Training juga 企業内研修も受け付けています
Investasi In House Training Rp.9.800.000,- / hari (jumlah peserta max 24 orang)
イン・ハウス料金 Rp.9.800.000,- / 日 (参加者数は 24 名)

.....

Formulir Pendaftaran Training PT. ISSI

Saya mendaftarkan diri pada Seminar : HRS LS SD

Nama Lengkap Peserta (e-mail / HP) : _____

Nama Lengkap Pendaftar * (e-mail / HP) : _____

Pendaftar : Penanggungjawab perusahaan

Nama Perusahaan (Jenis usaha) : _____

No. Tel. Kantor : _____

No. Fax. Kantor : _____

Alamat Kantor : _____

Cara pembayaran : Transfer Cash

Nomor rekening : PT. ISSI Bank BCA KCP Lippo Cikarang 5220302085



ばずる で ばはさ (農業・漁業編)

パズル感覚でインドネシア語を勉強しましょう。

「ばずるでばはさ」では、日本語とインドネシア語との対比が色でわかるようになっています。

パズル 3

Ikan yang kali ini, besar
今回の魚は大きいです

- Informasi itu benar.
インフォルマシ イトゥ ブナール
その情報は正しいです。
- Buah ini, tidak jelek.
ブア h イニ ティダッ ジェレツ
この果物は悪くありません。
- Schedule yang kemarin, bagus.
スケジュール ヤン クマリン、バグス
昨日のスケジュールは良くできていました。
- Data ini, benar atau salah?
ダタ イニ、ブナール アタウ サラ h ?
このデータは正しいですか、間違いですか？
- Laporan yang minggu lalu, tidak salah, tetapi kurang bagus.
ラポラン ヤン ミングー ラル、ティダッ
サラ、テタピ クーラン バグス
先週の報告は間違いではありませんが、あまり良くありませんでした。

解説

- “yang” は関係代名詞で、(後ろ)の(前)と言うように使います。
例 laporan yang kemarin 昨日の報告
barang yang ada di sini
ここにあった(ある)物
- 程度を表す言葉の前に “tidak” を付けると否定形になり、“kurang” を付けるとやわらかい否定形になります。
例 tidak bagus 良くない
tidak jelek 悪くない
tidak benar 正しくない
tidak salah 間違いではない
kurang bagus あまり良くない
kurang benar あまり正しくない
kurang banyak あまり多くない
- “atau” は「～それとも～」といった感じで良く使います。
例 benar atau salah 正しいか間違いか
ya atau tidak YESかNOか
bagus atau tidak 良いかその反対か
sudah atau belum 終わったか未だか
- “kemarin” には「昨日」という意味以外に「先日、この間」と言った意味もありますので注意してください。

ピース 1 (接続語その他)

yang	ヤン	～の～
atau	アタウ	～それとも～
tetapi	テタピ	～しかし～
tidak	ティダッ	違う(強い否定)
ya	ヤ	はい(肯定)
kurang	クーラン g	少ない(弱い否定)

enak	エナッ	美味しい
pedas	プダ s	辛い
manis	マニ s	甘い
asin	アシン	しょっぱい
pas	パス	ちょうど良い
besar	ブサール	大きい
kecil	クチール	小さい

ピース 2 (程度を表す言葉)

benar	ブナール	正しい
salah	サラ h	間違い
bagus	バグ s	良い
jelek	ジェレツ	悪い
banyak	バニヤッ	多い
sedikit	スディキッ	少ない
panas	パナ s	暑い、熱い
dingin	ディギン	寒い、冷たい

ピース 3 (時期を表す言葉)

minggu	ミングー	週
lalu	ラル	過ぎ去った
minggu lalu	ミングー ラル	先週
bulan	ブラン	月
bulan lalu	ブラン ラル	先月
tahun	タフン	年
tahun lalu	タフン ラル	去年
kali	カリ	回
kali ini	カリ イニ	今回

**Pelajaran Bahasa Jepang dengan Puzzle (Untuk pertanian / perikanan)**

Mari belajar bahasa Jepang, berdasarkan tata bahasa.

Dalam pelajaran ini, karena diwarnai kosakatanya, maka arti kosa katanya langsung bisa dimengerti

Puzzle 3

誰 の 船 ですか。

Dale no hune des ka?

Kapal siapa?

- 誰 の 畑 ですか。
Dale no hatake des ka?
Ladang siapa?
- 佐藤さん の 畑 です。
Satoo san no hatake des.
Ladang Pak Sato.
- 誰 の 田んぼ ですか。
Dale no tambo des ka?
Sawah siapa?
- いつ の 出荷 ですか。
Itsu no shukka deska.
Pengiriman / delivery kapan?.
- 来週 の 出荷 です。
Laishuu no shukka des.
Pengiriman / delivery minggu depan.
- 先週 の 値段 ですか。
Sensyuu no nedan des ka?
Harga minggu lalu?

Tuliskan latin sesuai
bunyi asli bahasa
Jepang

- "Siapa", "Kapan", "Mana", "Apa" dalam bahasa Jepang, sebagai berikut.

Siapa	だれ	Dale
Kapan	いつ	Itsu
Mana	どこ	Doko
Apa	なん	Nan

- Dalam bahasa Jepang, kadang-kadang ada kata kasar, kata biasa dan kata sopan.
- Kata biasa dari "Siapa" adalah "だれ (Dale)". Sedangkan kata sopan dari "Siapa" adalah "どなた (Donata)".
- Kata biasa dari "Mana" adalah "どこ (Doko)". Sedangkan kata sopan dari "Mana" adalah "どちら (Dochila)".
- Di Jepang, waktu bercakap-cakap, memakai kata "Anda" kedengarannya kurang sopan. Lebih bagus sebut nama lawan bicara dengan memakai kata 「さん」(san) dan lebih sopan 「さま」(sama) di belakang namanya.
- 「さん」(san) artinya seperti "Mr." atau "tuan". Akan tetapi waktu memakai harus disertakan nama orang. Waktu memanggil seseorang yang namanya belum tahu, jangan panggil "san!!". Sebaiknya memanggil "Sumimasen (permisi)!!"

Peace 1			itsu	いつ	kapan
Syukka	出荷	Pengiriman / delivery	doko	どこ	mana
Nyuuka	入荷	Pemasukan	dochila	どちら	mana (sopan)
Nedan	値段	Harga	nan	なん	nan
Kakaku	価格	Harga (baku)			
Ichiba	市場	Pasar	Peace 3		
Seli	せり	Lerang	kinoo	昨日	kemarin
Noukyou	農協	Koporasi pertanian	ototoi	一昨日	kemarin dulu
Gyokyou	漁協	Koporasi perikanan	ashita	明日	besok
Senkajyoo	選果場	Tempat memilah hasil pertanian	asatte	明後日	lusa
Kakookoojoo	加工工場	Pabrik mengolah	sensyuu	先週	minggu lalu
			konsyuu	今週	minggu ini
			laisyuu	来週	minggu depan
Peace 2			sengetsu	先月	bulan lalu
dale	だれ	siapa	kongetsu	今月	bulan ini
donata	どなた	siapa (sopan)	laigetsu	来月	bulan depan



ああ言えば Ngomong begitu

こう言う Ngomong begini

第百八十課 Pelajaran 180

ゆかげん
湯加減はいかがですか。

Yukagen wa ikaga des ka.

Panasnya pas atau tidak?

パナsニヤ パス アタウ ティダッ?

ちょうどいいです。

Choodo ii des.

Iya pas.

イヤ パs。

Tulisan latin sesuai bunyi asli bahasa Jepang

かいごかんけい かいわ
介護関係の会話です。 Percakapan yang ada kaitan perawatan orang tua.

Info Pustaka PT. ISSI (BJ Press) PT.ISSI (BJ Press) 出版物のご案内

Buku Pembelajaran bahasa 語学教材

Pelajaran Bahasa Jepang
dengan BJ SystemBisa memahami baca menulis bahasa Jepang
dengan singkat

短期間で日本語の読み書きが習得できます。

6 Jilid 全6巻

@ Rp. 50.000

Puzzle de Bahasa
(Untuk pabrik/kantor)
ばずる de ばはさ (工場事務所編)Buku percakapan
yang disusun berdasarkan BJ system
BJシステムをベースにした
会話の教科書です。

2 jilid 全2巻

@ Rp. 50.000

日本人向けインドネシア語教科書
Buku pelajaran
Bahasa Indonesia
untuk orang Jepang奥さんの
BJ式
インドネシア語講座
Pelajaran Bahasa
Indonesiaばずる de ばはさ
(工場事務所編)
Puzzle de Bahasa
(untuk pabrik / kantor)

@ Rp. 100.000

Serial Dwi Bahasa Indonesia Jepang

日バイリンガルシリーズ

Kata Kunci
dalam
Operasi Pabrik
工場運営の
キーワードDari QC
ke QA
QC から
QA へNgomong begini Safety Drive
Ngomong begitu
ああ言えば
こう言うSekolah di
Jepang
日本の学校Dongeng Miyazawa
Kenji (Buku 1)
宮澤賢治 童話集
(第一巻)

@ Rp. 50.000

松下幸之助 運をひらく言葉
Kata-kata Mutiara Matsushita Konosuke

Rp. 100.000

弊社の書籍はネットショップ「Lazada」からもご購入いただけます。
Pustaka kami bisa didapat melalui internet "Lazada"

- <http://www.lazada.co.id/beli-buku-pembelajaran-pengajaran-bahasa/>

**Serat Centhini チェンティニ古文**

4. Tuhan Maha Murah Memberikan Pekerjaan dan Rezeki kepada Setiap Umatnya, Asalkan Manusia Berusaha
4. 心優しき神は人間が努力する限り全てのものに仕事と恵みを与える

Cerita tentang Sayid Markaban masih panjang, bila diteruskan tidak akan selesai dalam waktu tiga hari. Selanjutnya hanya seperti dongeng saja, maka kurasa cerita ini sudah cukup,” kata Ki Antyanta.

“Ya, memang sudah cukup,” kata Ki Sali, “bukanlah begitu Ngger ‘Buyung’ Cebolang?”

Mas Cebolang menghormat sembah dan berkata, “Benar, rasa hati ini seperti menerima wangsit. Sangat puas menerima anugrah seperti ini. Bagai bulan tertutup mendung, lalu tersapu angin sehingga mendung tidak berdaya dan bulan menyinari dunia,” Lalu dilanjutkannya.

Mas Cebolang, “Bapak (Antyanta), maafkanlah saya sebesar-besarnya, besok pagi saya dan teman-teman mohon pamit hendak melanjutkan tujuan.”

Ki Antyanta tersenyum dan berkata, “Aku merasa belum tuntas menjamumu, Ngger ‘Buyung’. Aku tidak akan menghalangi perjalananmu. Hanya doaku, lestari dan selamatlah dalam semua tujuanmu.”

“Terima kasih, petuah Bapak akan hamba junjung dan kami jadikan bekal,” kata Mas Cebolang.

Mas Cebolang maju, mencium hormat berganti-ganti dan Ki Wisma lalu Ki Sali.

Ki Sah berkata, “Ngger ‘Buyung’, bila engkau berkenan, singgahlah di rumahku.”

Jawab Mas Cebolang. Terima kasih, tetapi semoga tidak mengecewakan hati Bapak. Kami mohon maaf karena perjalanan kami sudah begitu lama dan belum sampai tujuan.”

サイッド・マルカバンに関する物語はまだ長い。もし、続けるとしたら三日でも終わらない。続きは単なる昔話のようなものだ。だから私が思うにこの話はもう十分だろう」とキ・アンティアンタは言った。

「そうだ、もう十分だ」とキ・サリは言う。「そうじゃないかねチェボラン君？」

チェボランは手を合わせ敬意を表し言う。「その通りです、私は悟りを得たような気がします。このような褒美を得て非常に満足しています。例えるならば月が雲に隠れ、その雲が風にさらわれ曇りが力を失い、月が世界を照らしているような感じです。」そして続ける。

チェボランは言う、「アンティアンタさん、心から私をお許しください。明朝私と友人らは次の目的のために旅を続けるためお暇しなければなりません。」

キ・アンティアンタは微笑みながら言う、「私はあなたを十分にもてなしていません、チェボラン君。」私はあなたの旅の邪魔はしません。私はあなたのすべての目的の継続と安全をお祈りするだけです。」

「ご忠告に感謝します。そのお言葉を心に秘め宝といたします」とチェボラン。

チェボランは進み出て、キ・ウスマそしてキ・サリと代わる代わる敬意を表し口付けした。キ・サは言う「チェボラン君、もし迷惑でないなら私の家に寄らないか。」

チェボランは答える、ありがとうございます。しかし、あなたを落胆させないことを。誠に申し訳ありません。私どもの旅は既に長く、まだ目的に達しておりません。

**キ・ハジャー・デワントロ Ki Hadjar Dewantara**

インドネシア教育の父と言われるキ・ハジャー・デワントロの言葉です。
これからの真の教育のあり方を考える上での一つの材料になれば幸いです。
Kata-kata Ki Hadjar Dewantara sebagai bapak pendidikan Indonesia.

Semoga menjadi salah satu bahan untuk memikirkan keberadaan pendidikan sebenarnya untuk masa depan.

Ko-edukasi dan ko-instruksi atau
Mendidik dan mengajar anak-anak perempuan dan laki-laki bersama-sama (2)

Dalam adat-istiadat kita pada umumnya yang harus dipisahkan itu ialah laki-laki dan perempuan, yang menurut hukum sudah bisa diikat dengan pertalian nikah. Karena itu perhubungan antara saudara-saudara sepupu-pun sudah harus diatur dengan adat kesopanan. Inilah tandanya bangsa kita dalam adat-istiadatnya senantiasa mementingkan petunjuk kodrat. “Denatuur is sterker dan de leer” kata peribahasa Belanda (Kodrat itu lebih kuasa daripada pengajaran). Peribahasa itu dalam hidup kita bukan perkataan saja, tetapi senantiasa dalam praktek.

Oleh karena itu maka dalam pendidikan kita diadakan peraturan demikian:

1. Sampai umur 14 tahun ko-edukasi dan ko-instruksi, yaitu pendidikan dan pengajaran bersama-sama, laki-laki dan perempuan-perempuan; hal ini tidak hanya tak mengkhawatirkan saja, tetapi malah baik, karena dapat menumbuhkan pergaulan yang selaras (natuurlijk).
2. Semasa anak-anak perempuan berumur 14 tahun, anak laki-laki kurang lebih 16 tahun, yaitu masa birahi yang pertama (puberteit), haruslah orang-tua waspada. Ko-instruksi masih tetap dijalankan, akan tetapi pergaulan antara laki-laki dan perempuan harus sudah diatur dengan azas kesucian dan sifat kesopanan. Umpamanya dengan peraturan demikian:
3. Janganlah mengizinkan anak perempuan bepergian sendirian dengan anak laki-laki, walaupun waktu siang. Kalau perlu pergi dengan laki-laki, baiklah membawa teman satu lagi, baik perempuan maupun laki-laki. (Kalau seorang gadis berjalan sendirian dengan seorang laki-laki, biasanya ada syaitan yang mengikuti. Jadi seharusnya ada tiga orang bersama-sama.)
4. Apabila sang Matahari, yaitu Batara Maha Pengawas sudah pergi, tidak baik gadis-gadis bepergian, kalau tidak bersama-sama orang tua. “In der Nacht, wenn die Libe erwacht...” kata orang Jerman. (Pada waktu malam, dikala cinta mulai sadar...)”)
5. Peraturan mengamat-amati dengan keras itu harus dilakukan pada masa sangat-sangatnya rasa birahi menyala, yaitu antara umur 16 sampai 18 tahun untuk gadis, dan buat anak laki-laki antara umur 18 – 25 tahun.

Dalam hal ini haruslah kita ingat bahwa nafsu perempuan itu pasif (tak bertenaga, menyerah) dan nafsu laki-laki itu aktif (bertenaga). Dalam ilmu pendidikan Jawa adalah perkataan “nglamuri”, yaitu artinya “kabur” atau “kelam” dan mengandung makna “berbuta tuli”. Inilah tabiatnya anak laki-laki dalam waktu birahi.

6. Sesudah anak gadis berumur 20 tahun dan anak laki-laki kira-kira 25 tahun, hendaknya mereka dimerdekakan sama sekali, karena boleh kita anggap pendidikan batin sudah cukup, dan akan kawinpun sudah patut.



男女共学について (2)

我々の慣習の中で一般的に分けなければならないのは、法的に婚姻の関係で結ばれる男女である。であるから兄弟や従姉妹の間であっても礼儀のある習慣により規定されなければならない。これが自然の摂理を重んじた通常の慣習における我々民族の印である。オランダのことわざ「Denatuur is sterker dan de leer」（自然の摂理は教育に勝る）というものがある。そのことわざは我々の生活の中で言葉だけでなく、行動のなかにあるということを示している。

であるから、教育の中において我々は以下のような規則を示す：

1. 14歳までは共学とする。このことはただ単に恐れていないだけでなく、しかしその反対に自然な状態における人間関係を築くためである。
2. 女子が14歳、男子が16歳になった時期、1回目の性的興奮（発情期）、親は注意を払わなければならない。共学はまだ続ける。しかし男女の関係は清楚および礼節に行われなければならない。例えば以下のような規則である。
3. 昼間であっても女子が一人で男子と外出することを許可してはならない。もし、男子と外出する必要がある場合は、他の友人もう一人（それは男子でも女子でも）。を連れて行く。（もし、一人の少女が一人で一人の男と外出する場合、通常悪魔が一緒について行く。であるから三人一緒とするべきである。）
4. 太陽（お天道様）が過ぎ去った後、少女が外出するのは良くない。親が一緒でない場合。ドイツ人の言葉「In der Nacht, wenn die Libe erwacht…」（夜、恋が頭をのぞかせる。。。）
5. そのような観察に関する厳しい規則は性的興奮（発情期）に大きく火がつき始めた時期に行われなければならない。それは少女の場合16歳から18歳、そして男子の場合18歳から25歳である。

この件において我々は女子の性欲は受け身的（無力）で男子の性欲は能動的（力づく）であることを理解しなければならない。ジャワの教育学では「nglamuri」とする。それは「霞む」もしくは「はっきりしない」という意味であり「盲目」という意味を含んでいる。これが性的興奮（発情期）の中にある男子の性格である。

6. 少女が20歳そして男子が25歳を過ぎた後は、彼らを全く自由にした方が良い。なぜなら精神的な教育はすでに十分であり、婚姻もふさわしいからである。

**松下幸之助の言葉 Kata-kata Matsushita Konosuke**

Konosuke Matsushita

Tokoh besar manajemen Jepang. Banyak orang memanggil beliau sebagai "Dewa Manajemen".

Sebelum perang dunia ke II, beliau mendirikan "Matsushita Elektrik" dengan 3 orang (bersama isteri dan adik isteri) saja. Dan sekarang "Matsushita Elektrik" tersebut dikenal sebagai "Panasonic".

Setelah Perang dunia ke II, beliau mendirikan lembaga penelitian PHP (PEACE and HAPPINESS through PROSPERITY) dengan tujuan mencari kebahagiaan manusia dalam segi batiniah.

まえむき ことば
前向きになれる言葉 25

よなか
世の中がスピーディになるほど、
ひじょう
非常にゆっくりとした、のんびりしたものが
ほしくなってくる。

か しんてんとう たが しごと じっさい
IT化の進展等により、お互いの仕事はどんどんスピードアップしています。実際それで
せい せい じんげん せいかい
成果もあがっていますが、人間は機械ではありません。のんびり過ごすことも大事です。そ
なか あら ちから ちえ
うした中から新たな力や知恵が湧いてくるのです。

けんきゅうしょ おおえひろし へんちよ まつしたこうのすけ きょううん ひ よ ことば
PHP 研究所、大江弘 編著 「[松下幸之助] 強運を引き寄せる言葉」より

Kata-kata yang bisa menjadi pikiran positif 25

Masyarakat menjadi semakin speedy,
ingin mendapatkan hal yang sangat pelan-pelan
dan santai.

Seiring perkembangan IT dsb., pekerjaan masing-masing makin menjadi cepat (speed up). Secara nyata bisa dapat hasilnya. Namun manusia bukan mesin. Penting juga kita hidup dengan santai. Dalam kondisi seperti itu, akan muncul kekuatan dan kearifan baru.

Dari buku "[Matsushita Konosuke] kata-kata yang menarik keuntungan besar"
Penulis / Penyusun Ooe Hiroshi, Penerbit PHP Research Institute. Inc.

広告募集のお知らせ Penerimaan Pemasangan Iklan

「こむにかし I J」誌上に掲載する広告を募集しています。詳しくは、PT.ISSI 事務所までお問い合わせください。
Kami sedang menerima pemasangan iklan di "Komunikasi IJ". Informasi selanjutnya silahkan hubungi PT.ISSI.



広告 Iklan



「文化塾」日本語コースのお知らせ

Informasi

Kursus Bahasa Jepang "Bungka Juku"

日本語学校「文化塾」では、
皆様のご参加をお待ちしております。
Kursus Bahasa Jepang "Bungka Juku"
menunggu kehadiran anda.

Dengan BJ System
yang terbaru di dunia.
Begitu selesai level 6,
mendapat kemampuan setara
lulusan S1

Biaya pendaftaran : Rp.100.000-

Biaya kursus (termasuk buku, ujian dan sertifikat)

Level 1 : Rp. 350.000- (8 kali pertemuan)

Level 2 - 6 : Rp. 700.000- (16 kali pertemuan)/Level

Sistem Ujian Mandiri
Biaya Ujian Rp.25.000-, Jika lulus
langsung dapat sertifikat!

Silahkan mendapatkan
buku pelajaran
di Kantor ISSI

In House Training : Rp. 300.000,-/kali (Max. 15 orang)

Menerima Pendaftaran

Di Kantor PT. Industrial Support Services Indonesia
Ruko Menteng A22 Lippo Cikarang, Bekasi, Jawa-Barat
Tel. (021) 8990-9861

E-mail: ekaissi@indosat.net.id / infoissi@indosat.net.id

Hp. 0818-10-0286 (Indah)



宮澤賢治の童話から Dari Dongeng Miyazawa Kenji

Miyazawa Kenji adalah penulis dongeng legendaris di Jepang. Dari dongeng dia, kita bisa mempelajari bermacam-macam hal. Maka kami sengaja memuat dongeng dia disertai terjemahan bahasa Indonesianya.

谷 (4)

雨つぶはだんだん数が増して来てまもなくザアッとやって来ました。榎(なら)の葉はパチパチ鳴り響(しづく)の音もポタッポタッと聞えて来たのです。私と慶次郎とはだまって立ってぬれました。それでもうれしかったのです。

ところが雨はまもなくぱたっとやみました。五六つぶを名残(なご)りに落してすばやく引きあげて行ったといふ風でした。そして陽(ひ)がさっと落ちて来ました。見上げますと白い雲のきれ間から大きな光る太陽が走って出てみたのです。私どもは思はず歓呼(きんこ)の声をあげました。榎や柏(かしは)の葉もきらきら光ったのです。

「おい、こゝほどの辺だか見て置かないと今度来るときわからないよ。」慶次郎が言ひました。

「うん。それから去年のもさがして置かないと。兄さんにでも来て貰(もら)はうか。あしたは来れないし。」

「あした学校を下ってからでもいゝぢゃないか。」慶次郎は私の兄さんには知らせたくない風でした。

「帰りに暗くなるよ。」

「大丈夫さ。とにかくさがして置かう。崖(がけ)はぢきだらうか。」

私たちは籠(かご)はそこへ置いたまま崖の方へ歩いて行きました。そしたらまだまだと思ってみた崖がもうすぐ目の前に出ましたので私はぎくっとして手をひろげて慶次郎の来るのをとめました。

「もう崖だよ。あぶない。」

慶次郎ははじめて崖を見たらしくいかにもどきとしたらしくしばらくなんにも云ひませんでした。

「おい、やっぱり、すると、あすこは去年のところだよ。」私は言ひました。

「うん。」慶次郎は少しつまらないといふやうになづきました。

「もう帰らうか。」私は云ひました。

「帰らう。あばよ。」と慶次郎は高く向ふのまっ赤な崖に叫びました。

「あばよ。」崖(がけ)からこだまが返って来ました。

私はにはかに面白くなって力(ちから)いっぱい叫びました。

Lembah (4)

Butir-butir hujan, makin lama makin bertambah, dan sebentar lagi datang seperti zaaaa. Daun-dahun pohon Nara berbunyi pat pat dan bunyi turun hujan pun mulai terdengar tes tes tes. Saya dan si Kejiro berdiri dengan diam dan menjadi basah begitu saja. Namun begitu pun saya merasa senang.

Akan tetapi sebentar lagi tiba-tiba berhenti hujan. Seperti menjatukan 5, 6 butir dengan rasa sayang, dan cepat-cepat melarikan diri. Dan tiba-tiba masuk jatuh sinar matahari. Begitu melihat atas, dari selah-selah awan berwarna putih, matahari yang bersinar dengan besar muncul dengan berlari. Kami tanpa sadar berteriak besar-besar. Daun-daun pohon Nara dan pohon Kashiwa pun bersinar kincorooooon.

“Ayo, kalau kita tidak melihat daerah sini kira-kira ada di mana, waktu ingin datang nanti, tidak jelas lho.” Nomong si Kejiro.

“Ya. Dan harus mencari yang tahun lalu juga. Apakah minta datang kakak saya nga ya? Karena besok tidak bisa datang sih.”

“Boleh juga kan? Besok setelah selesai sekolah juga.” Si Kejiro kelihatannya tidak ingin diketahui oleh kakak saya.

“Waktu pulang menjadi gelap lho.”

“Tidak apa-apa. Bagaimana pun kita cari dulu. Kala jurang sudah dekat ngak ya?”

Kita dengan tinggalkan keranjang di situ, berjalan menuju ke arah jurang. Dengan begitu, jurang yang diperkirakan masih jauh tiba-tiba muncul di depan mata, saya menjadi kaget dan menghentikan si Kejiro dengan melebarkan tangan.

“Sudah jurang. Bahaya!”

Si Kejiro kelihatannya baru pertama kali melihat jurang, dan kelihatannya betul-betul kaget, sementara waktu tidak ngomonog apa-apa.

“Ya, betul, kalau begitu yang tadi tempat yang tahun lalu.” Saya ngomong.

“Ya.” Si Kejiro menunduk kepala dengan kelihatannya tidak begitu senang.

“Bagaimana kita pulang?” Saya ngomong.

“Ayo pulang. Selamat tinggal!” Si Kejiro berteriak terhadap jurang sebelah yang berwarna merah jingga dengan suara tinggi.

“Selamat tinggal!” Dari jurang kembali suara.



「ホウ、居たかあ。」
 「居たかあ。」崖がこだまを返しました。
 「また来るよ。」慶次郎が叫びました。
 「来るよ。」崖が答へました。
 「馬鹿(ばか)。」私が少し大胆になって悪口をしました。
 「馬鹿。」崖も悪口を返しました。
 「馬鹿野郎」慶次郎が少し低く叫びました。

ところがその返事はたゞごそごそそつとつぶやくやうに聞えました。どうも手がつけられないと云ったやうにも又そんなやつらにいつまでも返事してゐられないなと自分ら同志で相談したやうにも聞えました。

私どもは顔を見合せました。それから俄(には)かに恐(こは)くなって一緒に崖をはなれました。

それから籠(かご)を持ってどンドン下りました。二人ともだまってどンドン下りました。雫(しづく)ですっかりぬればらや何かに引っかゝれながらなんにも云はずに私どもはどンドンどンドン遁(に)げました。遁げれば遁げるほどいよいよ恐くなったのです。うしろでハッハッハと笑ふやうな声もしたのです。

ですから次の年はたうとう私たちは兄さんにも話して一緒にでかけたのです。

Karena saya tiba-tiba merasa senang, berteriak dengan setenaga suara.

“Hoo, kamu datang ya.”

“Kamu datang ya!” Jurang mengembalikan gema.

“Kita datang lagi ya!” Si Kejiro berteriak.

“Darang lagi ya!” Jurang menjawab.

“Bego!” Saya menjadi besar hati, dan ngomong menghina.

“Bego!” Jurang pun kenbalikan kata-kata menghina.

“Bego lho.” Si Kejiro berteriak dengan suara yang sedikit rendah.

Akan tetapi jawaban itu terdengar seperti ngomong sendiri dengan gooo gooo. Terdengar juga seperti bagaimana pun tidak bisa diatasi, atau terhadap orang-orang seperti itu, kenapa harus menjawab terus dan mereka saring berdiskusi.

Kita saring melihat muka. Setelah itu tiba-tiba menjadi merasa takut dan meninggalkan jurang bersama.

Setelah itu, dengan membawa keranjang, cepat-cepat turun. Dengan berdua turun terus. Dengan embun betul-betul menjadi basah, dan sambil dicakar dari mawar atau apa, tanpa ngomong apa-apa kita melarikan diri terus menerus. Makin melarikan diri, makin rasa takut menjadi besar. Terdengar juga suara ketaha hak hak hak...

Oleh karena itu, kalau tahun yang berikut akhirnya kita berbicara sama kakak saya dan pergi dengan sama-sama.

編集後記 Dari Redaksi

おかげさまで、この「こむにかし IJ」も 180 号 15 年を迎えました。これもひとえに読者の皆さまのおかげです。改めてお礼を申し上げます。

さて、「ガドガド」にも書きましたが、今は大きな歴史の大変換期だと思っています。その一つの現象がコロナですが、日本もインドネシアも 2 月の頭頃をピークに感染者数、死亡者数共に減少傾向になっています。このまま落ち着き素晴らしい世の中が来ることを心待ちにしています。

Ternyata “Komunikasi IJ” ini sudah menyambut edisi ke 180. Berarti telah lewat 15 tahun. Ini berkat adanya pembaca sekalian. Dalam kesempatan ini, kami ucapkan terima kasih sebesar-besarnya.

Ngomong-ngomong, seperti ditulis di “Gado-Gado”, saya anggap kita sedang berada di dalam perubahan besar dalam sejarah. Dan salah satu fenomena adalah Corona. Kelihatannya baik di Indonesia maupun di Jepang, jumlah orang positif dan orang meninggal dengan puncaknya sekitar awal Februari ini, menjadi turun. Saya sangat berharap dengan turun terus dan bisa menyambut dunia yang baru yang baik.

(Bedjo)

インダストリアル・サポート・サービス・
インドネシア (ISSI)
翻訳・通訳サービスのご案内

この度インダストリアル・サポート・サービス・インドネシア (ISSI) では、以下のような翻訳・通訳サービスを行っています。どうぞご利用ください。

1. 一般通訳サービス (インドネシア人)
 - 日本語能力試験 2 級以上 / 日本滞在経験 2 年以上のインドネシア人が担当いたします。
 - 料金： 半日 (4 時間まで) 1 万 3 千円
一日 (8 時間まで) 2 万 3 千円
(オーバータイム 3 千円 / 時)
2. 通訳サービス (日本人)
 - 在イ 25 年のベテラン通訳者による通訳サービス
 - 料金： 半日 (4 時間まで) 2 万 5 千円
一日 (8 時間まで) 4 万 8 千円
(オーバータイム 7 千円 / 時)
3. セミナー / 会議通訳サービス (日イ)
 - せっかく経験豊富な人にセミナーを行ってもらったのに、どうも現地スタッフの反応がまいち、セミナー後の結果が出にくいという経験はありませんか? セミナーの良し悪しは通訳によるものが大きいものです。
 - 料金： 半日 (4 時間まで) 3 万円
一日 (8 時間まで) 5 万 8 千円
(オーバータイム 8 千円 / 時)
4. 同時通訳 (日イ)
 - 料金： 半日 (4 時間まで) 4 万 8 千円
一日 (8 時間まで) 8 万 8 千円
(オーバータイム 1 万円 / 時)
5. 翻訳サービス
 - プロフェッショナル
 - ・ 今まで多くの技術関係、法律関係の翻訳を手がけています。どうぞ安心してご利用ください。
 - ・ 料金： 一般 1 ページ 3 千 5 百円
技術・法律 1 ページ 4 千円
レイアウト 1 ページにつき千円加算
(印刷までお任せいただけます)
 - 1 ページ (日本語 400 字、インドネシア語 150 単語) スタンダード
 - ・ 簡単な翻訳にご利用ください。
 - ・ 料金： 一般 1 ページ 1 8 万ルピア
1 ページ (日本語 400 字、インドネシア語 150 単語)
 - 翻訳の納品および支払い方法
 - ・ 基本的に翻訳物のやり取りは電子メールもしくはファックスで行います。支払いは翻訳が出来上がった時点で完成した翻訳と共に請求書をお送りしますので ISSI の銀行口座にお振込みください

お問い合わせ先

PT. インダストリアル・サポート・サービス・インドネシア (PT. ISSI)
Tel. : 021-8990-9861
Fax : 021-8990-7296
(月・金、9:00-18:00、日本語のできるスタッフが対応します)
E-mail : oku@issi.co.id / fuad@issi.co.id

携帯 : 0817-490-8510 (奥信行)
/ 0817-84-9702 (フアド)

Informasi jasa terjemahan dan penerjemah oleh
PT. Industrial Support Services Indonesia (ISSI)

Atas nama PT. Industrial Support Services Indonesia (ISSI), memberikan jasa sebagai berikut.

1. Jasa Penerjemah umum
 - Ditangani orang Indonesia yang sudah dapat ujian kemampuan bahasa Jepang 2 kyuu lebih / pernah tinggal di Jepang 2 tahun lebih.
 - Ongkos jasa: Setengah hari (sebelum 4 jam) 13.000 yen
Satu hari (sebelum 8 jam) 23.000 yen
(Over time 3.000 yen / jam)
 2. Jasa Penerjemah (Indonesia-Jepang)
 - Jasa Penerjemah yang profesional, yang ditangani oleh orang Jepang yang telah tinggal di Indonesia dan pengalaman sebagai penerjemah selama 25 tahun
 - Ongkos jasa: Setengah hari (sebelum 4 jam) 25.000 yen
Satu hari (sebelum 8 jam) 48.000 yen
(Over time 7.000 yen / jam)
 3. Jasa Penerjemah untuk Seminar / Rapat
 - Apakah ada pengalaman seperti, walaupun diadakan seminar oleh orang ahli, tetapi reaksi pesertanya tidak memuaskan, atau setelah seminar, hasilnya tidak begitu kelihatan. Kesuksesan seminar, sangat tergantung penerjemah juga.
 - Ongkos jasa: Setengah hari (sebelum 4 jam) 30.000 yen
Satu hari (sebelum 8 jam) 58.000 yen
(Over time 8.000 yen / jam)
 4. Simultaneous translator
 - Ongkos jasa: Setengah hari (sebelum 4 jam) 48.000 yen
Satu hari (sebelum 8 jam) 88.000 yen
(Over time 10.000 yen / jam)
 5. Jasa Terjemahan
 - Professional
 - ・ Ditangani oleh orang Jepang yang telah berpengalaman untuk berbagai macam terjemahan baik teknis maupun hukum.
 - ・ Ongkos jasa: Umum : 1 halaman 3.500 yen
Teknis / hukum : 1 halaman 4.000 yen
Gambar / daftar ditambah 1.000 yen per halaman
1 halaman (bahasa Jepang 400 huruf, bahasa Indonesia 150 kata)
- Siap menerima pesanan sampai ke percetakan.
- Ekonomis
 - ・ Ditangani oleh orang Indonesia berpengalaman.
 - ・ Ongkos jasa: 1 halaman Rp. 180.000-
1 halaman (bahasa Jepang 400 huruf, bahasa Indonesia 150 kata)
 - Cara mengirim terjemahan dan pembayaran
 - ・ Kirim mengirim bahan terjemahan secara dasar dilakukan melalui e-mail atau fax.
Setelah selesai terjemahan, kami akan kirim hasil terjemahan dan invoice, maka tolong ditransfer ke rekening ISSI.

Hubungi ke:

PT. Industrial Support Services Indonesia (PT. ISSI)
Tel. : 021-8990-9861
Fax : 021-8990-7296
(Senin-Jum'at, 9.00-17.00,
Ada staff yang bisa bahasa Jepang)
E-mail : fuad@issi.co.id
HP : 0817-84-9702 (Fuad)



広告 Iklan

報連相セミナーのご案内

社内のコミュニケーション、特に日本人の上司と現地社員とのコミュニケーションのことで悩んでいる会社が多いと思います。確かに言葉の問題、そして文化の違いなどもその原因にあると思います。しかし、言葉や文化の違いのせいにはかりすることで社員一人ひとりの能力を発揮することができないとしたら、それはとてももったいないことです。

最近、世界中で「報連相」という考え方が広まってきています。これは「報告」「連絡」「相談」を略したもので、特に社内においていかにコミュニケーションをスムーズに行うようにするかという考え方です。

この「報連相」を学ぶことにより、社内におけるコミュニケーションの重要性を再確認することができます。また、PT. ISSIの「報連相」セミナーでは「会社で仕事をするこの意味」から、「生きるこの意味」といったことまで触れ、社員一人ひとりの仕事に対する意気込みを変えたいお手伝いをしています。

更には具体的な報連相のツールも簡単にご紹介していますので、社内における作業効率の改善にもお役に立つと思います。

PT. ISSIでは「報連相セミナー」と共に「真・報連相セミナー(情報によるマネジメント)」も行ってあります。「報連相セミナー」終了後に合わせてご利用いただければより一層の効果が上がると思います。

セミナーの主な内容

- 日本企業発展の秘密
- 管理者の能力とは何か
- 生きる意味
- 「情報」に関するいくつかの考え方
- 「報告」「連絡」「相談」の説明
- 「お客様の苦情は会社の宝」
- ケーススタディ
- 「報告」「連絡」に関するいくつかのツールの紹介
- 二日セミナーの場合、二日目は日本報連相センターからの教材を使って報連相の質を更に深めます。

受講料

インハウス・トレーニング

お客様の工場・事務所に出席のセミナー

(参加者数は自由)

一日セミナー Rp.9,800,000- (九百八十万ルピア)
二日セミナー Rp.18,900,000- (千八百九十万ルピア)

インハウス・トレーニング・イン・ISSI

ISSIのセミナールームを利用したインハウス・トレーニング

(定員 24 名)

一日セミナー Rp.9,800,000- (九百八十万ルピア)
二日セミナー Rp.18,900,000- (千八百九十万ルピア)

※食事、スナック込み

※ 上記料金は全て税別です。

Seminar "HORENSO"

Mungkin ada banyak perusahaan yang sedang mengalami kesulitan tentang komunikasi di dalam perusahaan, khususnya antara atasan orang Jepang dan staff lokal. Memang perbedaan bahasa dan budaya menjadi salah satu penyebab. Akan tetapi karena meng-kambing-hitam-kan perbedaan bahasa dan budaya sehingga kalau tidak bisa memanfaatkan kemampuan karyawan masing-masing, hal itu amat sangat disayangkan.

Saat ini, sedang tersebar teori "HORENSO" di seluruh dunia. "HORENSO" adalah singkatan dari "HOUKOKU (Pelaporan)", "RENRAKU (Informasikan)" dan "Soudan (Konsultasi)", dan teori untuk melancarkan komunikasi di dalam perusahaan.

Dengan mempelajari "HORENSO" ini, dapat disadari kembali bagaimana pentingnya komunikasi di dalam perusahaan. Dan dengan seminar "HORENSO" di PT. ISSI, sampai menyinggung "kenapa kita bekerja di dalam perusahaan" sampai "kenapa kita hidup", maka bisa membantu meningkatkan semangat kerja karyawan masing-masing.

Selain itu, kami mengenalkan beberapa tool HORENSO secara nyata, maka dapat digunakan untuk memperbaiki (KAIZEN) efisiensi pekerjaan di dalam kantor.

Kami PT. ISSI, selain "Seminar HORENSO", menyediakan pula "Seminar SHIN-HORENSO (Managemen melalui informasi)". Jika dipergunakannya setelah selesai "Seminar HORENSO", efisiensinya dapat lebih ditingkatkan.

Isi Seminar

- Rahasia kemajuan perusahaan Jepang
- Kemampuan sebagai manager itu apa?
- Arti hidup
- Beberapa pikiran tentang "Informasi"
- Penjelasan mengenai "HOUKOKU", "RENRAKU" dan "Soudan"
- "Claim adalah harta perusahaan"
- Studi Kasus
- Mengenalkan beberapa tool yang ada kaitan "HOUKOKU" dan "RENRAKU"
- Jika seminar 2 hari, hari yang ke 2 meningkatkan mutu HORENSO, dengan menggunakan bahan dari Pusat HORENSO Jepang.

Biaya training

In House Training

Seminar yang dilakukan di tempat client (jumlah pesertanya bebas)

1 hari seminar Rp.9.800.000-
(Sembilan Juta Delapan Ratus Ribu Rupiah)
2 hari seminar Rp.18.900.000-
(Delapan Belas Juta Sembilan Ratus Ribu Rupiah)

In House Training in ISSI

In House Training yang menggunakan ruang seminar ISSI

(max. 24 orang)

1 hari seminar Rp.9.800.000-
(Sembilan Juta Delapan Ratus Ribu Rupiah)
2 hari seminar Rp.18.900.000-
(Delapan Belas Juta Sembilan Ratus Ribu Rupiah)

※ Ongkos jasa di atas semua tidak termasuk pajak (PPh 23).



PT. インダストリアル・サポート・サービス (PT. ISSI) が目指すもの

インドネシアは世界に誇る素晴らしい国です。自然環境、文化そして地下資源に至るまで全て揃っています。本当に豊かな国です。その証拠にオランダは350年にわたる植民地化で自分の国を大きくしました。現在はアメリカが同じようにインドネシアの豊かさによって自分の国を繁栄させています。もし、インドネシアが貧しい国だとしたら、だれがインドネシアを植民地化しようとするのでしょうか。

しかし、インドネシアがオランダやアメリカに搾取されているのは事実です。どうして搾取されし続けているのでしょうか。一般的にある国をコントロールしようとする場合、経済封鎖を使います。しかし、インドネシアは経済封鎖をされてもほとんど全ての資源が国内にあるので、ほとんど問題はありませぬ。では、どうして搾取されているのでしょうか。それは国力が足りないからです。国力とは何でしょう。それは人です。国民です。国民一人一人の能力。それがそのまま国力になると思います。

人の能力とは一体なんなのでしょうか。それはものを考える力だと思っています。そして、ものを考える力は読書により培われると思っています。

私は以前、本の販売部数をベースに日本とインドネシアの読書量の違いを調べました。国民一人当たり、一年間に何冊の本を購入しているかというものです。そこで出てきた数字はインドネシアが0.13冊、日本が5.9冊というものでした。それを国力としてみると、なんとインドネシアの国力は日本の45.4分の1ということになります。これが現実です。この状態でどうしてインドネシアを搾取の危機から守ることができるのでしょうか。

私がPT. ISSIを立ち上げた一つの目的はそこにあります。インドネシアの読書率を引き上げるためにできることをしたい。そういった思いです。

設立当初から続けているのはインドネシア語と日本語によるバイリンガルマガジンの発行です。本屋さんで本を買うお金がなくても、読みたいものがなくても、無料で読み物を手に入れることができます。なるべく質の良い本や、素晴らしい方々の書き物をご紹介しますようにしています。そして、書き溜めたものを少しずつ書籍化しています。

それから、日本語教育です。一般の日本語教育では会話中心のものがほとんどですが、PT ISSIでは、独自に開発した教材で、読み書きを中心とした日本語教育を行っています。それは、インドネシア語の良い書籍がなくても、日本語で読むことができれば、世界中のさまざまなものを読むことができるからです。

百田尚樹の「日本国紀」に次のような一節があります。「また日本は欧米の書物を数多く翻訳したことにより、日本語で世界中の本が読める特異な国となった。おそらく当時たった一つの言語で、世界の社会科学や自然科学の本だけでなく、古今東西の文学を読めた国は日本だけであったと思われる。同時代の中国人や朝鮮人、それに東南アジアのインテリたちが、懸命に日本語を学んだ理由はここにもあった。当時、日本語こそ、東アジアで最高の国際言語であったのだ。」(百田尚樹「日本国紀」332ページ、株式会社幻冬舎)

PT ISSIでは「私たちは企業は理想的な教育機関であると考えています」をスローガンに企業教育に力を入れています。中身のあるわかりやすい教材をインドネシア語に訳してのトレーニング。コンサルタント。そして翻訳、通訳を通し、企業研修のお手伝いをしていきます。

微力ではありますが、インドネシアの発展のためにできることを続けていきたいと思っています。私は、インドネシアと日本が一つになることを夢見ています。インドネシアと日本が一つになれば、全てのものが揃います。そして、その力を持ってすれば世界平和も夢ではありません。



Visi dan Misi PT. Industrial Support Services Indonesia (PT. ISSI)

Negara Indonesia adalah negara yang bagus yang bisa dibanggakan pada seluruh dunia. Segara hal lengkap seperti lingkungan alam, budaya sampai sumber daya mineral (bawah tanah). Buktinya Belanda menjajah selama 350 tahun dan membesarkan negara sendiri. Kalau sekarang Amerika juga memakmurkan negara sendiri dengan kekayaan Indonesia. Seandainya kalau Indonesia negara miskin, siapa yang ingin menjajah Indonesia?

Namun Indonesia secara nyata dieksploitasi oleh Belanda dan Amerika. Kenapa dieksploitasi terus? Pada umumnya jika ingin kontrol suatu negara, menggunakan cara embargo. Akan tetapi kalau Indonesia, karena hampir semua sumber daya ada di dalam negeri, hampir tidak ada masalah. Kalau begitu kenapa dieksploitasi. Karena kekuatan negaranya kurang. Kekuatan negara itu apa? Iyalah manusia. Rakyat. Kemampuan rakyat satu orang satu orang. Itulah langsung menjadi kekuatan negara.

Kalau begitu kemampuan manusia itu apa? Menurut saya, daya berpikir. Dan saya anggap daya berpikir tersebut dapat dikembangkan dengan baca buku.

Saya dulu pernah mencari perbedaan minat baca buku antara Indonesia dan Jepang, berdasarkan jumlah penjualan buku. Saya hitung rata-rata satu orang beli berapa buku dalam 1 tahun. Dan saya dapat angka, iyalah Indonesia 0,13 buku dan Jepang 5,9 buku. Jika angka itu dianggap sebagai kekuatan negara, ternyata kekuatan negara di Indonesia menjadi 1 per 45,1 dibandingkan Jepang. Inilah kenyataan. Dengan kondisi seperti ini, bagaimana bisa amankan Indonesia dari ancaman eksploitasi?

Kenapa saya mendirikan PT. ISSI, salah satu tujuannya ada di situ. Supaya meningkatkan minat baca di Indonesia, ingin melakukan apa yang bisa dilakukan. Itulah keinginan saya.

Sejak didirikan yang dilanjutkan adalah menerbitkan majalah dwi bahasa antara bahasa Indonesia dan bahasa Jepang. Walaupun tidak ada dana untuk beli buku di toko buku, walaupun tidak ada yang ingin baca, dapat bacaan dengan gratis. Saya berusaha memperkenalkan buku bermutu dan tulisan yang ditulis oleh orang bermutu. Dan yang telah ditumpuk di majalah dijadikan buku sedikit demi sedikit.

Kemudian pelajaran bahasa Jepang. Kalau pelajaran bahasa Jepang umum, hampir semua berdasarkan percakapan. Namun kalau di PT. ISSI menggunakan bahan pelajaran yang dikembangkan secara khusus. Bahan tersebut berdasarkan baca dan menulis. Karena walaupun di Indonesia tidak ada buku yang bagus, jika bisa baca dengan bahasa Jepang, bisa baca berbagai buku dalam dunia.

Naoki Hyakuta menulis sebagai berikut dalam buku "Catatan negara Jepang". "Dan kalau Jepang, karena telah diterjemahkan buku Barat banyak sekali, menjadi negara yang unik yang mana bisa baca buku seluruh dunia dengan bahasa Jepang. Ada kemungkinan pada waktu itu, dengan satu bahasa bisa baca buku bukan hanya ilmu pengetahuan sosial dan ilmu pengetahuan alam dunia saja, namun sastra seluruh dunia, hanya Jepang saja. Orang China orang Korea dan ilmuwan Asia Tenggara belajar bahasa Jepang dengan mati-matian, alasannya ada di situ. Pada waktu itu, bahasa Jepang lah bahasa internasional yang paling tinggi dalam Asia Timur." (Naoki Hyakuta "Catatan negara Jepang" hal. 332, PT. Gentousha)

PT. ISSI mentitik beratkan pendidikan dalam perusahaan dengan semboyan "Kami anggap perusahaan adalah lembaga pendidikan yang paling ideal." Training dengan terjemahkan pada bahasa Indonesia dari bahan pelajaran yang bermutu dan mudah dimengerti. Konsultan. Dan melalui terjemahan baik tulisan maupun lisan, membantu training / pendidikan dalam perusahaan.

Apa yang bisa dilakukan hanya sedikit saja, namun ingin melanjutkan apa yang bisa dilakukan demi kemajuan Indonesia. Saya bermimpi Indonesia dan Jepang akan menyatu. Jika Indonesia dan Jepang menjadi satu, semua menjadi lengkap. Dan jika menggunakan daya tersebut, dapat mewujudkan perdamaian dunia.